

平成 24 年度 使用済製品等のリユース促進事業研究会
報告書

平成 25 年 3 月

環境省大臣官房廃棄物・リサイクル対策部企画課リサイクル推進室

《目次》

本事業の目的と概要.....	1
第1章 使用済製品のリユースに関するモデル事業.....	4
＜モデル事業の実施概要＞.....	4
I. 愛知県大府市.....	5
II. 大阪府泉大津市.....	14
III. 東京都町田市.....	50
第2章 平成23年度モデル事業のフォローアップ調査.....	68
I. 平成23年度モデル事業の概要.....	68
II. 平成23年度モデル事業実施地域の動向.....	70
第3章 リユース品の流通状況・市場規模調査.....	76
I. リユース品の流通状況・市場規模調査の目的・概要.....	76
II. リユース品の流通状況・市場規模に関する既往調査・統計について.....	77
III. 消費者アンケート調査を踏まえたリユース市場規模の推計.....	80
IV. 消費者アンケート調査を踏まえた排出・流通実態の推計.....	111
第4章 今後のリユースのあり方に関する検討.....	122
第5章 リユース促進のために必要な指標について.....	126

本事業の目的と概要

使用済製品の3R（リデュース、リユース、リサイクル）のうち、リサイクルについては、特定家庭用機器再商品化法や資源の有効な利用の促進に関する法律に基づき、一定程度進展しつつある一方で、製品の適正な継続使用の促進を通じた廃棄物の減量化（リデュース、リユース）については、より一層の促進が必要とされている。

平成22年度より「使用済製品等のリユース促進事業研究会」を設置し、環境保全上の効果の点からも推進することが望ましいリユースに関する様々な取組の活性化を図るため事業を実施しているところである。

平成24年度の事業では、市町村とリユース業者との連携によるリユースモデル事業の実施、リユース品の流通状況・市場規模の調査、リユース促進のために必要な数値・データについての検討などを実施、今後のリユース推進に向けた課題や支援策を検討することを目的とした。

具体的には以下3つの調査・事業を実施した

- － 1 市町村とリユース事業者との連携によるリユースのモデル事業
- － 2 リユース品の流通状況・市場規模の調査
- － 3 リユース促進のために必要な数値・データの検討

調査の実施に当たっては、リユースに詳しい研究者、関係業界等の有識者の方を構成員とした研究会を開催し、多角的な検討をいただいた。研究会のメンバー及び検討の経緯は以下の通りである。

平成24年度 使用済製品等のリユース促進事業研究会
研究会メンバー

<座 長>

三橋 規宏 千葉商科大学 名誉教授

<委 員>

小野田弘士 早稲田大学環境総合研究センター 准教授
加藤 正 公益財団法人市川市清掃公社 理事長
佐々木五郎 公益社団法人全国都市清掃会議 専務理事
佐々木 創 中央大学経済学部 准教授
杉 研也 日本リユース業協会 事務局
田崎 智宏 国立環境研究所 資源循環・廃棄物研究センター 主任研究員
手塚 一郎 清和大学法学部 講師
長沢 伸也 早稲田大学大学院商学研究科 教授
長谷川 拓 ヤフー株式会社コンシューマ事業カンパニー ビジネス開発部 部長
波多部 彰 一般社団法人日本リユース機構 代表理事
服部美佐子 NPO 法人持続社会を実現する市民プロジェクト 代表理事
藤田 惇 一般社団法人ジャパンリサイクルアソシエーション 代表理事

<オブザーバー>

信田 哲宏 経済産業省産業技術環境局リサイクル推進課 課長補佐
瀧屋 直樹 経済産業省産業技術環境局リサイクル推進課 企画三係長（3R 担当）
見次 正樹 経済産業省商務情報政策局情報通信機器課環境リサイクル室 課長補佐

<事務局（環境省）>

永島 徹也 環境省廃棄物・リサイクル対策部リサイクル推進室 室長
眼目 佳秀 環境省廃棄物・リサイクル対策部リサイクル推進室 室長補佐（総括）
鍋谷芳比古 環境省廃棄物・リサイクル対策部リサイクル推進室 室長補佐

<事務局（委託先）>

加山 俊也 三菱 UFJ リサーチ&コンサルティング株式会社 環境・エネルギー部 主任研究員
松岡 夏子 三菱 UFJ リサーチ&コンサルティング株式会社 環境・エネルギー部 研究員
小川 拓哉 三菱 UFJ リサーチ&コンサルティング株式会社 環境・エネルギー部 研究員

検討の経緯

【第8回 研究会（8月27日（月）10：00～12：00）】

<議題>

- ・平成24年度事業の概要
- ・市町村における使用済製品リユースモデル事業の募集結果
- ・新たな循環型社会推進基本計画におけるリユース指標について

【第9回 研究会（11月9日（金）10：00～12：00）】

<議題>

- ・市町村における使用済製品リユースモデル事業の事業計画
- ・リユース品の流通状況・市場規模の調査の実施方針について
- ・リユース促進のために必要な数値・データについて

【第10回 研究会（2月20日（水）15：00～17：00）】

<議題>

- ・リユース品の流通状況・市場規模の調査結果について（中間報告）
- ・市町村における使用済製品リユースモデル事業（途中報告）
- ・昨年度のモデル事業のフォローアップ調査の報告

【第11回 研究会（3月21日（木）10：00～12：00）】

<議題>

- ・市町村における使用済製品リユースモデル事業（最終報告）
- ・今後のリユース促進に向けての検討

※研究会と並行してリユース業界団体との意見交換を通じ、リユースの促進にむけての意見交換を行った。

第 1 章 使用済製品のリユースに関するモデル事業

＜モデル事業の実施概要＞

市町村とリユース事業者や市民団体・NPO 等とが連携し、リユースを促進するためのモデル事業を実施した。平成 24 年度は、愛知県大府市、大阪府泉大津市、東京都町田市の 3 地域においてモデル事業を実施し、各地域のプランの概要は以下の通りである。

平成 24 年度市町村におけるリユースモデル事業の概要

	愛知県大府市	大阪府泉大津市	東京都町田市
名称	使用済小型家電における宅配リユース及びリサイクルの可能性検討事業※	リユースでエコ生活～第 2 弾～	持ち込みごみのリユース促進事業
プランの概要	宅配リユース事業の回収ルートにて小型家電対象 96 品目を回収する。回収した小型家電はリユース可能なものはリユース品として宅配リユース事業者が買取し、リユース不可なものは再資源化業者がリサイクルする。市民にとっては、買取れない小型家電もリサイクル品として処分され利便性が高い。	市民団体と協力して、市のホームページ及び市庁舎内に設けられた掲示板に市民の「家庭で使えなくなったもの（不用品）」について情報を掲載する。掲載情報を見て不用品が必要な方は市へと連絡し、市は引き渡しのあつせんを行う。また、気軽にリユース品の売買が行える「Yahoo! バザール」の利用を市民に情報提供、リユースを促す事業を同時に実施。	月に 1 回「リユースの日」を設定し、粗大ごみを回収する場所にて市民からのリユース品の引き取りを実施する。リユース事業者と連携することでリユースできる品目の拡大を目指す。市民はリユース可能と判断された場合、無償で引き渡すことができる。（リユース不可の場合でも粗大ごみとして処理し、再度の持ち込みは不要）
リユース対象品目	・小型家電対象 96 品目 （ただし、宅配で送れるもの）	・粗大ごみとして収集できるもの（電化製品を除く） ・衣類／など	・古着 ・家具 ・家電 ・レジャー用品など／など
役割分担	【行政】小型家電の宅配リユース・リサイクルの仕組みを広報 【民間企業】既存の宅配リユースの仕組みの中にリユース・リサイクル両方の製品を引き取る新しい引取方法を実施	【行政】市のホームページ及び掲示板に「不用品のあつせん」を掲載 【市民団体】広報・宣伝等で連携	【行政】「リユースの日」を設定し、リユース可能なものを無償回収 【民間企業】リユース可能なものを引き取り
実施期間	12 月 1 日（土）～2 月 28 日（木）	12 月 10 日（月）～2 月 28 日（木）	12～2 月までの 6 日間 （12 月 8 日（土）、9 日（日）、 1 月 19 日（土）、20 日（日）、 2 月 16 日（土）、17 日（日））

※平成 18 年 3 月 25 日付け、「『規制改革・民間開放推進 3 年計画』（平成 16 年 3 月 19 日閣議決定）」において平成 16 年度中に講ずることとされた措置（廃棄物処理法の適用関係）について」の通知に基づく試験研究として大府市が承認した事業として行います。

続いて、モデル事業実施自治体が提出した事業報告書を掲載する。

I. 愛知県大府市

1. リユースモデル事業の概要

(1) プランの概要

従来の大量生産・大量消費・大量廃棄型の社会活動様式は、化石燃料を中心とした天然資源の枯渇への懸念や温室効果ガスの排出による地球温暖化問題、さらには大規模な資源採取による自然破壊などの原因となっており、それぞれの問題は相互に悪循環しながら地球規模で深刻化しています。このため、地球上の限りある資源を有効に活用し、浪費を避け、循環利用を図ることが、極めて重要な課題となっております。

使用済小型家電製品の収集において、各地方自治体が収集している粗大ごみのうち 1～2 割程度が中古品として販売可能とのデータがあり、本市においても昨年 11 月に実施した、ごみ組成調査の結果からも、燃やせないごみの全体の重量に占める廃家電類の割合は 28.3%でした。

本年度は、ごみの減量化と希少金属のリサイクルを図るために、小型家電製品 30 品目につきまして、従来の産業文化まつりでの回収に加え、各公民館まつりでも実施しました。小型家電のリサイクルは、市民の方も関心が高く、結果、463 個、総重量 2,741kg を回収することができました。これに加え、昨年 12 月 1 日から本年 2 月 28 日まで、ごみの減量化と希少金属のリサイクルを図るために、環境省のリユースモデル促進事業である「使用済み小型家電における宅配リユース及びリサイクルの可能性検討事業」の実証実験を実施しました。この実証実験は、使用済み小型家電製品 96 品目を宅配便により回収し、リユース及びリサイクルの可能性を検討する事業です。

また、本市でも民間のリサイクルショップ等においてリユースの仕組みはあるものの、まだ拡大の余地が十分あると見込んでいます。このため、従来のイベント回収では、持込みができない市民に対して、新たな手法として、民間企業が提供する宅配の仕組みを使うことで、リユース・リサイクルの推進がどの程度可能かを評価・判断し、今後の廃棄物処分量の削減の可能性についての検討を行いました。特に、今後の小型家電製リサイクル法の施行を鑑みた場合、本市の回収ルートであるイベント回収など以外からも回収し、リユース可能なものはリユース販売にて、リユースできないものはリサイクル処理業者に売却することで、最も付加価値の高い状態での売却手法の検討を行うことで、回収率の向上と、民間企業での採算性の確保を両立することが可能か、本事業を通じて検証します。(別紙「フロー図」参照)

- ①利用者が専用ダイヤルで申込み
- ②利用者に品目、回収日時等を聞き取り調査
- ③宅配にて小型家電対象 96 品目を回収
- ④回収した小型家電はリユース可能なものはリユース品として宅配リユース事業者が買取し、リユース不可能なものは再資源化業者がリサイクル

【行政】 小型家電の宅配リユース・リサイクルの仕組みを広報

【民間企業】既存の宅配リユースの仕組みの中にリユース・リサイクル両方の製品を引き取る新しい引取方法を実施

(2) 広報・PRの方法

全戸配布チラシ：12月上旬（開始時）に大府市内の全戸にチラシを個別配布

広報誌掲載：11月15日号（開始前告知）、及び2月15日号（駆け込み需要）に掲載

また、2月15日号には、ネットオフが同紙に有料広告を掲載

市ホームページに掲載：11月15日から、開始前告知、2月15日から、駆け込み需要に関する内容を掲載

ポスター掲示：学校・保育園・公共施設（公民館等）・JR駅など、65ヶ所にポスターを掲示

ケーブルテレビ：地元のケーブルテレビである、知多メディアネットワークの12月14日のエリアニュースにおいて、実証実験に関するニュースを放映

月刊誌に掲載：月刊廃棄物平成25年1月号に、実証実験に関する記事掲載

新聞に掲載：平成25年2月28日付の日刊工業新聞の特集記事として、実証実験に関する記事掲載

※市役所幹部会を通じて、全職員等に対して実証実験の利用促進を実施

※環境美化推進員会議において実証実験のPRを実施

2. モデル事業の利用状況と効果

(1) モデル事業の利用状況

2月28日時点で、受電数1,637件、申込件数862件、リユース成約4件となっています。

開始(12/1)のチラシ配布時、終了前の広報誌(2/15号)での告知時に市民からの反響が多く寄せられました。特に広報紙での告知にて反響が多く寄せられました。また、その他の期間についても、安定して日当たり5件ほどの申し込みを頂きました。限られた告知と事前の認知が無い中、これだけ多くの市民の方にご利用いただけたのは、驚きの結果と捉えております。

受電のうち、「大府市に許可を得ているか、本当に無料なのか」等の問い合わせを多く受けました。軽トラ・空き地での違法操業者の印象からか、不安感・不信感をもたれている市民も少なくありませんでした。

これらの問い合わせを除いて回収サービスの成約に至らない例は、以下の通りです。

- ①回収対象外商品（代表例：冷蔵庫、テレビ、石油ストーブ）・・・約70%
- ②ダンボール箱がない・・・・・・・・・・・・・・・・・・約15%
- ③梱包等準備するのが面倒・・・・・・・・・・・・・・・・約15%

市民からの問い合わせ中でも家電4品目の引取に関する問い合わせが多くあったが、市民の心情として、家電4品目でも、「この実証実験では、無料で引き取ってくれるかもしれない。」という期待感から問い合わせがあったと推測していますが、受け入れてはしておりません。

また、ホームページでは96品目すべて掲載できましたが、広報やチラシでは、紙面の制約で96品目すべてを掲載しなかったため、送れるかどうかの問い合わせが多かった、と考えております。

次に、PCや携帯電話、レコーダー等の情報機器について、消去の仕方が不明という声が多く寄

せられていました。

リユースについては、回収申込の2割相当が対象と判断して、市民へ案内・詳細の聞き取りを実施しました。

それに比べ成約数が少なかった理由は、以下の通りです。

①故障等問題があり買い取り不可の商品・・・・・・・・・・約75%

②回収と比較して手間のかかる買い取りを嫌がられる・・・・約25%

届いた商品を検品していても、10年以上を経過した家電製品が大半で、リユース市場で需要が見込めない、クリーニング等の二次加工を含めると採算性に乏しい結果となりました。

電話受付にかかる平均通話時間は約5分でした。回収申込みが成約した場合は約7分、説明のみの場合は約3～4分ほどかかっています。受電スタッフは通話終了後の事務作業がほとんど無い為、通話時間＝申し込み手続きに係る所要時間となります。

利用者は、男性が多い結果(50.6%)となりました。片付けの起因は女性という印象を受けますが、パソコン関係が多かったことが、男性が多かった結果に影響していると思われます。

不在時の玄関前集荷については2/3を超える利用(66.6%)となり、好評を得たという印象を受けています。

玄関前に置いておくということで、当初はトラブル等を危惧した点がありましたが、「持ち去り」「クレーム」に至ったケースはありませんでした。また、電話での印象から市民の方が不安を抱く例は少なかったと思われます。

当日集荷も約半数(44.0%)の利用となりました。女性と比べ、男性が選択する比率が高い結果となっています(男47.5%、女40.4%)。処分品ということもあり、玄関前集荷と合わせて、手間無く片付けできる方法の選択をしていると思われます。

依頼箱数は1.8箱、平均3.7点ということで、男女共に大差はありません。パソコンの比率(28.3%、周辺機器を含めると43.0%)が多いこともあり、3辺100センチを超える箱での荷着が多くありました。

(2) モデル事業の効果

今まで市が提供してきた回収方法以外にも排出方法を増やすことで、市民意識の向上を図り、リユース・リサイクルの推進を図ることができました。利用者の立場で事業を考案し、忙しくて時間がない、店舗等へ持ち込むのが面倒、自治体指定のタイミングに出すのを忘れてしまうなど、時間やライフスタイル、年齢の関係で持込が難しい又は不便に感じる市民に対しては、自宅にしながらリユース・リサイクルできるスタイルを提供するとともに、買い取りという付加価値を付けることで、リユース・リサイクルの促進を図ることができました。

3. モデル事業の成果・課題（まとめ）

(1) 成果

市民にとっては、自宅にしながら、小型家電が無料で排出することができたため、利用者からは好評の声を多く聞くことができました。

▼回収量試算

回収重量 17,061 kg ※申込件数からの概算

回収点数 3,189 点

▼燃やせないごみの回収量比較（参考）

平成 23 年 12 月 100.65 t → 78.93 t（平成 24 年 12 月）▲21.72 t

平成 24 年 1 月 53.06 t → 45.68 t（平成 25 年 1 月）▲7.38 t

平成 24 年 2 月 41.48 t → 51.59 t（平成 25 年 2 月） 10.11 t

(2) 実証実験結果から導き出された課題

- 1 リユース（買取成約件数として 4 件）のみというのはきわめて低い水準であり、家の中にあつた、退蔵されていた製品が多く「捨てたいけど、捨てられない物、捨てるチャンスがなかった物」が、今回の実証実験で出てきたと思われます。主な理由といたしまして、行政が行う実証実験では、他のリユース民間業者へ配慮する必要があつたため、特定業者（ネットオフ）によるリユース買取を強く打ち出すことが望ましくないと考えたこと、チラシの訴求が「使用済製品」を回収する旨となっており、金銭価値の高い「使用中製品（≒使用可能な製品）」を回収する訴求にすることが難しかったこと、リユース市場の中で、小型家電の占めるポジションが小さいことが考えられます。例えば、ネットオフの場合、小型家電類は買取金額比で 2.3%（2012 年 12 月実績）に過ぎず、その他が圧倒的多数で、その他リユース対象品として、本・CD・DVD・ゲームソフト・ブランド品、時計、貴金属、スポーツ用品（ゴルフ等）などがあります。なお、今回の実証実験では、リサイクル回収品は、有価物として中間処理業者に全量売却しており、リサイクル売上として報告通りの金額ですが、個人情報保護の観点からも、リサイクル回収品からリユースの掘り起こしをしていませんでした。

今後の改善させる方策としては、市でリユース中心の訴求を行うこと、その際、複数業者が混在すると市民がどこに出していいかわからず混乱するため、指名業者（市のお墨付き業者）を選定する。小型家電以外についても幅広くリユース買取を行えることを明確に打ち出すこと、幅広くリユース買取できるが、その中で資源性の高い小型家電については壊れていても引き取るとし、リユースを上位に置きつつも、同時にリサイクルも行うといった統合リサイクルシステムとして打ち出し方を変えること、リサイクル対象品の中から、リユースできるものを掘り出すこと、但し、今回リサイクルとして届いた製品を見たところ、10 年を経過しているモノが多く、一般のリユース市場では、流通しにくいと判断しています。これら中からジャンク品（価値の低い製品）を取り出せば、特定の市場で販売できる可能性はあるかもしれませんが、工数＝コストの方が高くなる可能性がある点が課題となります。

- 2 事業採算性を検討する際、ネットオフ内での採算性のみではなく、廃棄物削減効果なども見込んで、採算性を検討する必要があるため、民間、市民、行政の立場で分析すると以下のとおりです。

(民間の目線)

▼民間事業収支試算 ※申込件数からの概算(税抜)

収入 : 139,972 円 (リサイクル 128,075 円、リユース 11,897 円)
 支出 : 1,315,648 円 (宅配送料、仕分人件費、コールセンター人件費、電話代等)
 限界利益 : ▲1,175,676 円

先の試算から、民間企業としては 1,175,676 円の赤字となりました。

(市民の目線)

市民が直接クリーンセンターに小型家電を持ち込んだ場合、10 kgにつき 100 円徴収しているため、 $17,061 \text{ kg} = 1,707 \times 100 \text{ 円} = 170,700 \text{ 円}$ を市民が負担することになりますが、今回の場合、市民の負担は発生しませんでした。なお、市民から費用を徴収した場合は、処理費に充当しています。

(行政の目線)

3月6日掲示の環境省「小型家電の回収に係るガイドライン」を参考に試算した場合、

$17,061 \text{ kg} \times \text{破碎処理単価 } 32 \text{ 円/kg} = 545,952 \text{ 円} \cdots \textcircled{1}$

$17,061 \text{ kg} \times \text{焼却処理量 (41\%)} \times \text{焼却処理単価 } 22 \text{ 円/kg} = 153,890 \text{ 円} \cdots \textcircled{2}$

$17,061 \text{ kg} \times \text{埋立処分量 (29\%)} \times \text{埋立処分単価 } 47 \text{ 円/kg} = 232,541 \text{ 円} \cdots \textcircled{3}$

$17,061 \text{ kg} \times \text{リサイクル量 (30\%)} \times \text{鉄買取単価 } 7 \text{ 円/kg} = 35,828 \text{ 円} \cdots \textcircled{4}$

$\textcircled{1} + \textcircled{2} + \textcircled{3} - \textcircled{4} = 896,555 \text{ 円}$ の廃棄物処理費削減につながったと試算できます。

よって、以下の比較が可能になります。

	クリーンセンター持込処理費用	実証実験での回収費用
(民間の目線)	0 円	1,175,676 円
(市民の目線)	※ 170,700 円	0 円
(行政の目線)	896,555 円	0 円
(社会全体)	1,067,255 円	1,175,676 円
※クリーンセンター持込の際の交通費(ガソリン代等)は除く		

結果、今回の実証実験によりリサイクルは促進されたものの、クリーンセンターへの持込と比較して、108,421 円の社会全体の処理費用増加となったといえます。

但し、リユースの拡大や回収コストの削減(宅配費用削減、ネット申込化など)、利便性の対価として市民から処理費徴収を検討するなど、社会を構成するメンバー内で適正に負担を分散させながら、従来以下の費用で資源循環をより推進できる可能性は充分にあると考えます。

(3) 今後の展開

本市は、来年度からこれまでのイベント回収に加え、公共施設に専用の回収ボックスを設置して使用済小型家電を回収予定です。

また、ネットオフは、来年度以降、今回の実証実験の結果を参考に、以下のことについて検討していく予定です。

- ① リユースを中心とした訴求の検討をします。
- ② 使用済み小型家電からのリユース品掘り起こし（使用可能品の精査と通電検査）の検討をします。
- ③ 専用資材（ダンボールもしくは再利用可能で折り畳める箱）の事前無料配布の検討をします。
- ④ 住民負担による宅配回収課金のニーズ調査（例えば、1箱数百円で当日玄関前回収など）の検討をします。
- ⑤ 廃棄するPC・携帯の個人情報に不安を感じる市民へのデータ完全消去サービスの検討をします。



送料・回収費用 無料 **小型家電**

宅配便での回収にご協力ください!

大府市では、環境省のリユースモデル促進事業である「使用済み小型家電における宅配リユース及びリサイクルの可能性検討事業」の実証実験を以下の期間に実施します。

知っていますか?

使用済み小型家電をリユース・リサイクルする理由
～デジタル機器に含まれるレアメタル～

デジタル家電や携帯電話などの小型家電は、貴重な資源であるレアメタルなどの有用金属を含んでいます。リユース・リサイクルが促進され、その相当部分が廃棄物として処分されています。また、各家庭には多くの使わなくなった小型家電が溜ったままとなっています。捨てられたり、家庭に眠る小型家電は「都市鉱山」とも呼ばれ、有用金属埋蔵量は年間844億円にもなり、日本にとって貴重な資源です。この小型家電を使えるものはリユース(注)し、使えないものはリサイクルして再資源化をする実証実験が、環境省からモデル事業指定を受けた「使用済み小型家電におけるリユース及びリサイクルの可能性検討事業」です。

実施期間

12月1日(土)～2月28日(木)

そこで大府市では

大府市では、この環境省のモデル事業の開始に先がけて、実験的に各公民館まつり、産業文化まつりでいらなくなった小型家電製品の回収を無料で行いました。12月1日からは、ネットオフ株式会社の宅配回収サービスを活用し、小型家電製品を無料で回収します。

全国に先駆けた「使用済み小型家電のリユース・リサイクル」モデル事業へのご協力をよろしくお願いいたします!!

リユース・リサイクルするには

公民館・産業文化まつりの回収は10月28日(日)で終了しました。12月1日(土)以降は、ご自宅での回収をご利用ください。

ラクラク便利で買取もある～ご自宅での回収～ **送料 無料**

お電話でお申し込みをいただければ、あとはダンボール箱につめて、玄関前においてください。ご指定日に宅配業者が引き取りにうかがいます。とてもラクラク便利なサービスです!

※回収可能な品目、詳しいご利用方法は裏面をご確認ください。
※箱に書かない場所においてください。
※買取の場合は、宅配業者へお手渡しください。

お問い合わせ先

ネットオフ株式会社

0120-75-0202 受付時間 10:00～19:00

お持ち込みでの回収は終了しました

大府市指定の日時・場所へ、小型家電製品をご自分でお持ち込みいただけました。公民館のふれあいまつりや大府市産業文化まつりの環境課ブースで、小型家電製品30品目を無料で回収しました。

お問い合わせ先

大府市 市民協働課 環境課

TEL:0562-45-6223

(注) リユースとは? 中古品として他の人に使ってもらうことです。

回収費用は宅配料も含め**無料**です。

宅配回収のご利用方法と回収品目

お申し込み方法 ～お申し込みはとっても簡単! 通話料無料の専用ダイヤルに電話するだけ～

簡単♪3ステップ お申し込み方法

STEP 1 お申し込み

下記電話番号からお申し込み。15時までのお申し込みで当日集荷OKです。

当日集荷 OK!

STEP 2 詰めて

回収に出したいモノをみかん箱程度の大きさまでのダンボール箱に詰めてください。

STEP 3 渡して

希望日時にご自宅へ宅配業者が無料で集荷に伺います。玄関前においてもOK! 箱に書かない場所においてください。

送料 無料

ご提供いただける小型家電を自宅に準備するだけ。
家にいなくてもOK! 玄関前においておけば、引き取りに伺います!

お申し込み・お問い合わせはこちら **0120-75-0202** 受付時間 10:00～19:00

主要回収品目

ノートパソコン/デスクトップパソコン/携帯電話/デジタルカメラ/据置型ゲーム機/携帯型ゲーム機/ビデオカメラ/デジタルオーディオプレーヤー/PHS端末/電子辞書/CDプレーヤー/MDプレーヤー/BDレコーダー/プレーヤー/ICレコーダー/カーナビ/ETC車載ユニット/VICSユニット/他79品目

※主要回収品目について、詳しくは、ネットオフまでお問い合わせください。

※3辺合計160cm以内、重量30kg以内のものに限ります。※宅配料におたり、配達時に危険をともなう小型家電の回収はできません。

※記憶媒体を含む機器については、お送りいただく前に必ずデータを消去してください。なお、リサイクル品として回収した機器は、個人情報保護のために最終処理を実施します。

※買取の場合は、玄関前におかず、必ず宅配業者へお渡しください。

リユースを推進します

ご家庭にある、“まだ使える”パソコンや携帯電話、デジタルカメラ、ゲーム機などの小型家電製品は、ゴミ減量化のためにできる限りリユースを推進します。

0120-75-0202 受付時間 10:00～19:00

申込書

お申し込みいただいた日をご記入ください。

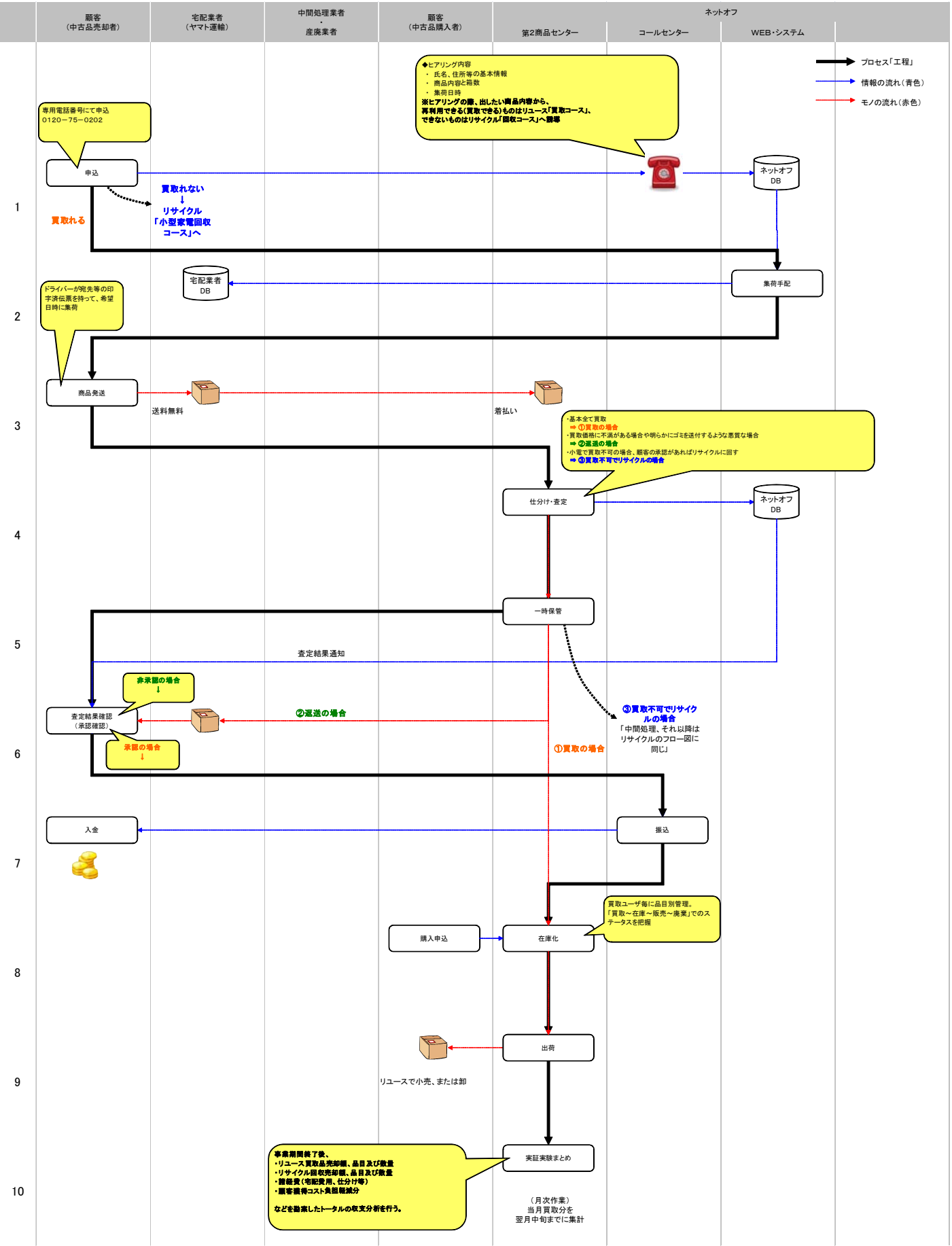
お申し込み日	月	日	お送りいただく箱数	合計	箱
--------	---	---	-----------	----	---

リサイクル品として回収した機器は、商品の所有権を放棄することに同意します。

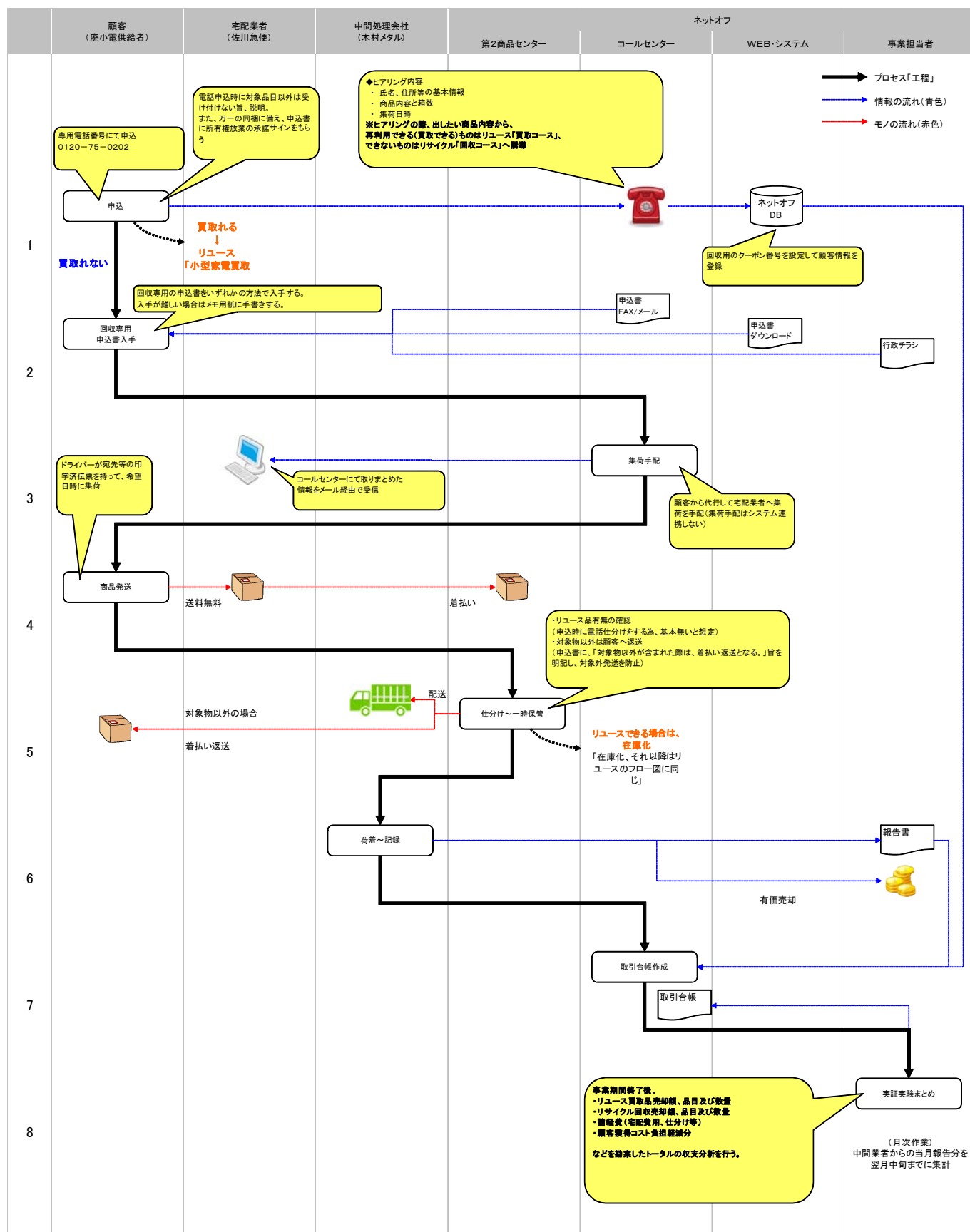
ご署名

※小型家電製品以外の商品をお送りいただいた場合、書封いで商品を送達させていただきます。予めご了承ください。

大府市フロー図（リユースコース）



大府市フロー図（リサイクルコース）



II. 大阪府泉大津市

1. リユース促進事業の概要

(1) プランの概要

市民団体によって、市庁舎内に設けられた不用品あっせん掲示板『こちら、ゆずります！』および「Yahoo! JAPAN」が実施している「Yahoo! バザール」の利用を促し、「家庭でいらなくなった物」をリユースすることで、廃棄物の排出削減および環境問題についての意識啓発を図る。

(2) モデル事業実施期間

平成 24 年 12 月 10 日から平成 25 年 2 月 28 日まで

(3) 取組内容について

①不用品あっせん掲示板『こちら、ゆずります！』を利用する場合

物を「ゆずりたい人（提供者）」は市へ登録申請を行うことで、市庁舎内に設けられた掲示板および市ホームページ内に出品物を掲載することができる。また、掲示板等を見て「ゆずってほしい人（需要者）」は、市役所担当窓口もしくはメールにより、購入希望申請を行うことができる。

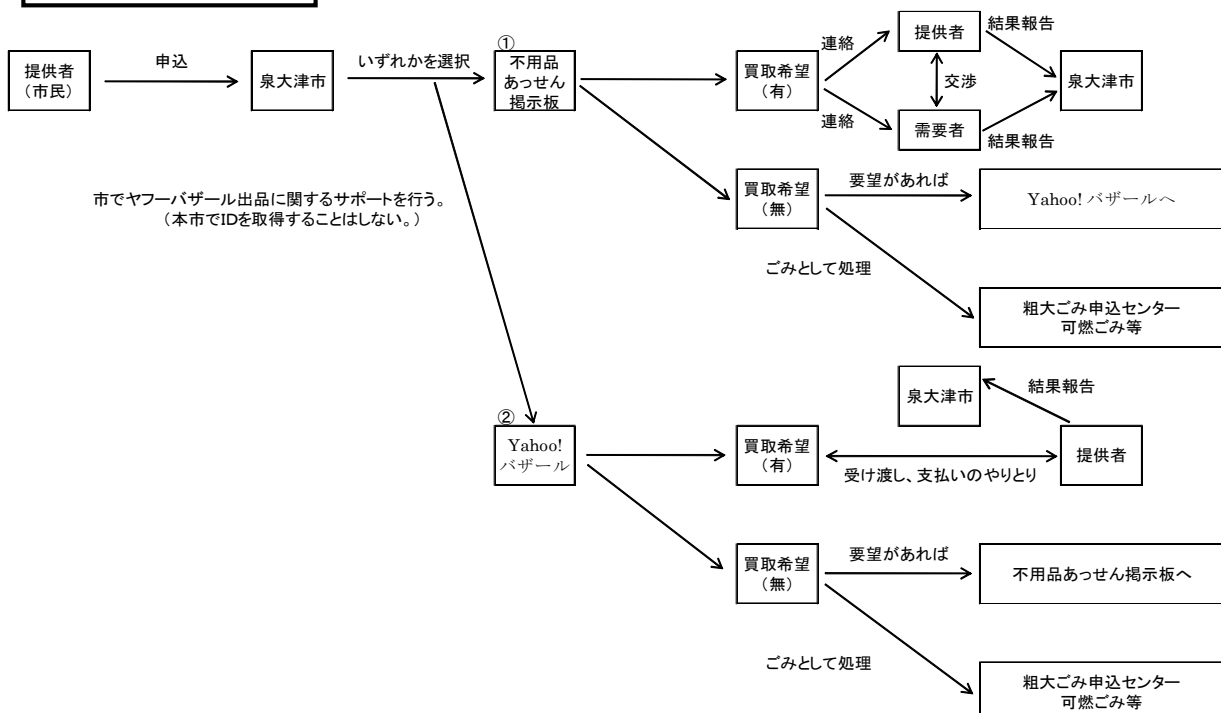
市は需要者に対して、提供者の連絡先等を伝えるが、その後の交渉については、品物の受け渡しや金銭の授受等も含め、当事者間で行うこととする。

交渉が成立もしくは不成立となった時点で、市へ結果報告を行っていただき、不成立の場合は、再度掲示板に掲載し、購入希望者を募る。

②「Yahoo! バザール」を利用する場合

インターネットが苦手な人のために、市役所担当窓口において、登録方法について指導を行う。市で ID を取得したり、交渉時における補助等は一切行わない。

モデル事業フロー図



(4) 広報・PRの方法について

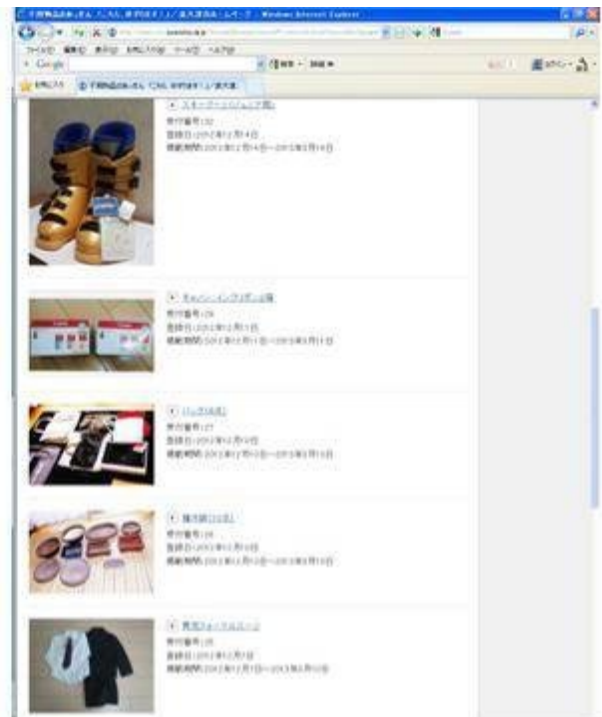
- 全戸配布チラシ (約 33,000 世帯)
- 広報紙 (12 月号、2 月号) への掲載
- 市ホームページへの掲載
- 出前講座や電話・窓口等の問い合わせの際に口頭で案内

(5) 改善点について

- ホームページで、品物の情報 (画像付) を閲覧できるようになった。
- ホームページから「ゆずりたい物」の出品申請できるようになった。
- 「ゆずってほしい物」がある場合、メールで申請できるようになった。
- 市役所内に設置している掲示板について、モデル事業を機会にデザイン等を変更し、市民の目に付きやすいものにした。



< 不要品あっせん掲示板版 (トップページ) >



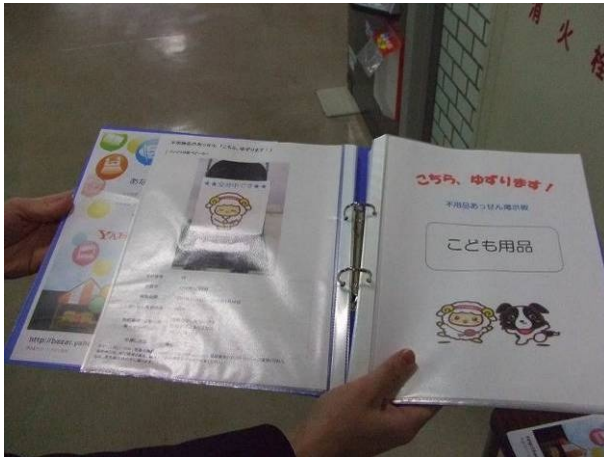
< 出品内容 (例) >



< 不要品あっせん掲示板版 (庁舎1階) >



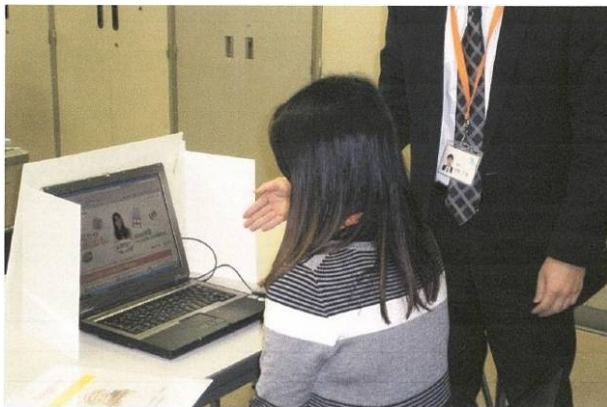
< 各種ちらしなど >



＜出品情報ファイル（※ウェブ、掲示版と同じ内容）＞



＜「Yahoo! バザール」のちらし＞



＜「Yahoo! バザール」の登録用 PC＞



＜登録支援のマニュアル＞

2. モデル事業の利用状況について

（1）出品件数について

モデル事業実施前（平成 24 年 4 月～11 月）の出品数 18 件（交渉成立が 4 件）

モデル事業実施後（平成 24 年 12 月～2 月）の出品数 33 件（交渉成立が 20 件）

モデル事業実施期間中、不用品あっせん掲示板のアクセス件数は 2,204 件であった。

※平成 23 年度（平成 23 年 4 月～平成 24 年 3 月）の出品数 44 件（交渉成立が 17 件）

（2）出品物について

ベビー用品、キッズ用品が大半だが、女性用カバンやベルト、お皿や植木鉢、パソコン用デスクなども見られた。

（3）交渉成立した物の例

ベビーカー、チャイルドシート、歩行器などのベビー用品は、出品後にすぐ交渉中となるぐらい人気が高かった。また、子供服などのキッズ用品も需要が高かった。また、女性用ベルトやパソコンデスクも成立していた。

3. アンケート調査の実施について

(1) アンケート実施内容

- ①モデル事業を利用した人を対象にアンケートを実施した。(対象者数 38 件) (※p19参照)
- ②モデル事業の認知調査についてアンケートを実施した。(対象者数 1,000 件) (※p21参照)

(2) 調査結果について

※「5. 泉大津市アンケート調査の概要」(p22以降を参照)

4. モデル事業の成果、課題について

(1) 成果

本来、粗大ごみや可燃ごみとして排出されていた物がリユースされることで、ごみの減量につなげることが出来た。また、環境に対する意識を変え、狭い地域内で物を循環させることで、人と人との助け合いや地域コミュニティの活性化につなげることができた。

一度利用した人は、二度三度と続けて利用していたことから、今後も継続的な利用が期待される。また、その人からの口コミ効果により利用者の拡大も期待できる。

(2) 課題

更に利用者を増やすためには、出品物を一定数確保し続けることが重要である。そのためには、不用品あっせん掲示板『こちら、ゆずります!』の認知度を高めていく必要があるが、広報紙や出前講座、窓口対応などあらゆる場面において、提供者および需要者の募集を行っていく。

(3) 今後の取組

モデル事業の成果や課題を踏まえ、引き続きリユース促進事業を継続していく。

具体案

- ①リユースショップの利用促進、啓発の強化
- ②将来的に、市民が利用できるリユースセンターの研究
- ③エコ傘運動の実施(予定)

【エコ傘運動】

粗大ごみや不法投棄されたビニール傘を再利用するという取り組みであり、泉大津市マスコットキャラクター「おづみん」のイラスト入りのエコ傘を公共施設等に置き、必要な際は共同利用することで、老若男女を問わず、物を大切にする意識(リユースへの意識)を深めてもらうことを期待している。

◎ 泉大津市 ◎ 環境省

— 12月10日より、インターネットからも品物を出品できるようになりました —

いらなくリユースしよう!!

出品者募集中!!
「こちら、ゆずります!!」に
出品していただいた人へ
**おづみんグッズ
プレゼント!!**

※先着順のため、
なくなり次第
終了です。

不用品あっせん掲示板
「こちら、ゆずります!!」を
ご利用ください!! (利用無料)

ご家庭で使わなくなった
「ゆずりたい」ものの情報を
募集しています!!

品物の情報は

- ①不用品あっせん掲示板 (市役所1Fに設置)
- ②泉大津市ホームページ
[ホーム→暮らし・募集案内
→不用品あっせん掲示板
「こちら、ゆずります!!」]
からチェックできます。

リユースなら
YAHOO! JAPAN バザール
もご利用下さい!

ゆずりたい!!

ゆずりたい品物の写真を持参し、市役所4階秘書広報課にお申し込みください。
(インターネットからの申し込みも可)
ひとり1回の申し込みにつき、原則2品目までとします。
ゆずりたいものにつけられる価格は1,000円が上限です。

【取り扱いできないもの】

- 化粧品
- 骨董品
- 生き物
- 医薬品
- 電化製品
- 著しく高価なもの
- コピー商品
- 食料品
- など

泉大津市民に限りです

ゆずってほしい!!

「こちら、ゆずります!!」にほしい品物がありましたら、市役所4階
秘書広報課にお申し込みください。(インターネットからの申し込みも可)

【注意】

・ご希望の品物が交渉中の場合はご紹介できません。

泉大津市民に限りです

※情報紹介なので、実物品のお預り、お引取りはできません。品物の受け渡しや交渉は
当人同士で行っていただきます。
※不用品あっせん掲示板「こちら、ゆずります!!」は、泉大津消費者問題研究会が設置
しています。

リユース企画第2弾!! (インターネットでリユース!!)

YAHOO! JAPAN バザール (<http://bazar.yahoo.co.jp>) **活用しませんか?**

★Yahoo!バザールとは、インターネット上で、誰でも簡単にモノを売り買える
サービスです。お手持ちの中古品やいらなくなったものを売ってみませんか?
★インターネットが苦手な方には登録の仕方を市職員が指導します。
市役所で登録していただいた人には、先着でおづみんグッズを
プレゼントします。この機会に、不用品をリユースしませんか?
※詳しくは、環境課 (市役所2階21番窓口) まで

泉大津市は4Rを推進しています!

リフーズ: 断る

R

efuse

エコバッグを持っていこう!
レジ袋よりもかわいいですよ。
マイ箸やマイタンブラーなど
マイ〇〇を使いましょう!

リデュース: ごみを減らす

R

educe

安売りでも必要な分だけに!
冷蔵庫で腐らせていませんか?
残さず食べることもECOに
つながります!

リサイクル: 再生利用する

R

ecycle

雑誌がみもきちゃんと分別しましょう!
買いものの際は、リサイクル製品を
選んで購入しましょう!

リユース: 繰り返し使う

R

euse

捨てる前にまだまだ使えるものは
ありませんか?
リユースショップやフリーマーケットを
活用しましょう!

「4R」活動は節約にもなります。地球にも、お財布にもやさしい活動を広めましょう!

【お問い合わせ】 泉大津市都市政策部 環境課
【含みせ】 TEL: 0725-33-1131 (代表) FAX: 0725-22-6040

環境省からのお知らせ

使用済製品の3R (リデュース、リユース、リサイクル) のうち、リサイクルについては、一定程度進展し
つつある一方で、廃棄物の減量化 (リデュース、リユース) については、より一層の促進が必要であり、特に、
リユースについては、昨今の経済状況の変化により、新しい市場として注目を浴びています。
これを踏まえ、環境省はリユースに関する様々な取り組みの活性化を図るため、今後のリユース推進に向け
た課題や支援策を検討しています。
(ウェブページ URL: <http://www.env.go.jp/recycle/circul/reuse/index.html>)

本事業は泉大津市が実施する環境省のモデル事業です。

- 18 -

泉大津市利用者アンケート調査票（表面）

泉大津市リユース促進モデル事業に関するアンケート調査

実施主体：環境省、泉大津市

泉大津市では、環境省のモデル事業として、使用済製品等のリユース促進事業を実施しております。つきましては、今後の政策の参考とさせていただきますため、以下のアンケートにご協力ください。

（Ⅰ）リユースへの取り組みについてお伺いします。

問1 泉大津市がリユース促進に関するモデル事業を実施していることを知っていましたか？
（当てはまるものに○）

1. 知っていた （→問2へ） 2. 知らなかった （→問5へ）

問2 問1で「1. 知っていた」と回答された方にお伺いします。どのような方法で、リユース促進モデル事業を知りましたか？（当てはまるもの全てに○）（→回答後、問3へ）

1. チラシ 2. 広報紙 3. 市のホームページ 4. 市役所内に設置された掲示板を見て
5. 人から聞いた（口コミ） 6. Yahoo! バザールの紹介記事を見て（TwitterやFacebookなど）

問3 1年以内に、以下の店舗やサービス等を利用して、不用品を処分（ゆずる等）したことはありますか？（利用したことがあるもの全てに○）

1. リユースショップ（リサイクルショップ） 2. フリーマーケット
3. インターネットオークション 4. 友人や親せき等にゆずる
5. その他（ ）
6. 利用していない （→問4へ）

問4 問3で「6. 利用していない」と回答された方にお伺いします。利用しなかった理由は何ですか？
（当てはまるもの全てに○）（→回答後、問5へ）

1. 不用品が無かったから 2. すぐに処分したいから 3. 利用するのが面倒だから
4. 他人に使ってほしくないから 5. 個人情報の取り扱いに不安があるから
6. その他（ ）

問5 1年以内に、以下の店舗やサービス等を利用して、不用品や中古品を購入（ゆずってもらう等）したことはありますか？（利用したことがあるもの全てに○）

1. リユースショップ（リサイクルショップ） 2. フリーマーケット
3. インターネットオークション 4. 友人や親せき等にゆずってもらう
5. その他（ ）
6. 利用していない （→問6へ）

問6 問5で「6. 利用していない」と回答された方にお伺いします。利用しなかった理由は何ですか？
（当てはまるもの全てに○）（→回答後、問7へ）

1. 買う必要がなかったから 2. 欲しいものがなかったから 3. 利用するのが面倒だから
4. 他人が使った物を使いたくなかったから 5. 近くに店が無い等、利用できる条件に無かったから
6. その他（ ）

（Ⅱ）不用品あっせん掲示板「こちら、ゆずります！」を利用した方にお伺いします。

⇒利用されていない方は、問13へ進んでください

問7 不用品あっせん掲示板「こちら、ゆずります！」をどのように利用されましたか？
（当てはまるものに○）

1. ゆずりたいものを出品 2. 欲しいものを入手 3. 出品・入手のいずれも
→問7-1へ →問7-2へ →問7-1、7-2へ

問7-1 ゆずりたいものを出品された方にお伺いします。その理由についてご回答ください。
（当てはまるもの全てに○）

1. 捨てるにはもったいないから
2. 捨てるにはお金がかかるから
3. 誰かに有効に使って欲しかったから
4. 泉大津市が実施しており、安心して利用できるから
5. インターネットで利用できるから
6. 知人に勧められたから
7. その他（ ）

問7-2 欲しいものを入手された方にお伺いします。その理由についてご回答ください。
（当てはまるもの全てに○）

1. 安価だったから
2. 新品でなくてもよいから
3. 泉大津市が実施しており、安心して利用できるから
4. 知人に勧められたから、
5. その他（ ）

問8 不用品あっせん掲示板は、リユース促進事業を実施する以前から設置していましたが、ご存知でしたか？（当てはまるものに○）（→回答後、問9へ）

1. 知っていた 2. 知らなかった

問9 不用品あっせん掲示板を利用するのは何回目ですか？（当てはまるものに○）（→回答後、問10へ）

1. 今回が初めて 2. 2回目 3. 3回目 4. 4回目 5. 5回以上

問10 不用品あっせん掲示板を利用した際の、手続き・対応などについて、ご感想・満足度を5段階で回答してください。（各項目の当てはまるもの1つに○、分からない・該当しない場合には「6」を選択してください）（→回答後、問11へ）

	不満	普通	満足	分からない		
1) 不用品あっせん掲示板の見やすさ（市役所内掲示板）	1	2	3	4	5	6
2) 不用品あっせん掲示板の見やすさ（ホームページ）	1	2	3	4	5	6
3) “ゆずりたいもの”の出品の手続きについて	1	2	3	4	5	6
4) “ゆずって欲しいもの”の連絡・手続きについて	1	2	3	4	5	6
5) 交換する人との連絡調整について	1	2	3	4	5	6
6) 交換する人との品物・金銭の授受について	1	2	3	4	5	6
7) 市役所の対応、調整・仲介について	1	2	3	4	5	6

問 1 1 不用品あっせん掲示板をまた利用したいと思いますか？（当てはまるものに○）
（→回答後、問 1 2 へ）

1. また利用したい	2. 利用したくない	3. 分からない
------------	------------	----------

問 1 2 不用品あっせん掲示板を利用したご感想、あるいは今後の改善点などがあれば、お聞かせください。（→回答後、問 1 3 へ）

（ ）

（Ⅲ）「Yahoo! バザール」についてお伺いします。

問 1 3 Yahoo! バザールとは、インターネット上でお手持ちの不用品を売り買いできるサービスですが、今までに Yahoo! バザールを利用したことはありますか？（当てはまるものに○）

1. 利用したことがある	2. 利用したことは無いが、知っている	3. 初めて知った
--------------	---------------------	-----------

→ 問 1 4 へ → 問 1 7 へ → 問 1 7 へ

問 1 4 Yahoo! バザールをどのように利用されましたか？（当てはまるものに○）

1. ゆずりたいものを出品	2. 欲しいものを入手	3. 出品・入手のいずれも	4. 登録のみ
---------------	-------------	---------------	---------

→ 問 14-1 へ → 問 14-2 へ → 問 14-1、14-2 へ → 問 15 へ

問 1 4-1 ゆずりたいものを出品された方にお伺いします。その理由についてご回答ください。
（当てはまるもの全てに○）

1. 面白そうだったから、興味を持ったから	
2. 捨てるにはもったいないから	
3. 捨てるのにはお金がかかるから	
4. 誰かに有効に使って欲しかったから	
5. 泉大津市が紹介しており、安心して利用できると思ったから	
6. 「Yahoo! JAPAN」が運営しており、安心して利用できると思ったから	
7. インターネットで利用できるから	
8. 知人に勧められたから	
9. その他（ ）	

問 1 4-2 欲しいものを入手された方にお伺いします。その理由についてご回答ください。
（当てはまるもの全てに○）

1. 面白そうだったから、興味を持ったから	
2. 安価だったから	
3. 新品でなくてもよいから	
4. 泉大津市が紹介しており、安心して利用できると思ったから	
5. 「Yahoo! JAPAN」が運営しており、安心して利用できると思ったから	
6. インターネットで利用できるから	
7. 知人に勧められたから	
8. その他（ ）	

問 1 5 Yahoo! バザールを利用した際の手続き・対応などについて、ご感想・満足度を 5 段階で回答してください。（各項目の当てはまるもの 1 つに○、分からない・該当しない場合には「6」を選択してください）（→回答後、問 1 6 へ）

	不満	普通	満足	分からない	
1) 登録手続きについて	1	2	3	4	5
2) Yahoo! バザールの見やすさ（ホームページ）	1	2	3	4	5
3) 出品の手続きについて	1	2	3	4	5
4) 購入の手続きについて	1	2	3	4	5
5) 相手先との連絡調整・品物・金銭の授受について	1	2	3	4	5
6) 市役所の登録手続きの支援について	1	2	3	4	5

問 1 6 Yahoo! バザールをまた利用したいと思いますか？（当てはまるものに○）

1. また利用したい（→問 1 9 へ）	2. 利用したくない（→問 1 8 へ）	3. 分からない（→問 1 9 へ）
----------------------	----------------------	--------------------

問 1 7 同封のチラシや市のホームページ等を見て、Yahoo! バザールを利用したいと思いましたか？
（当てはまるものに○）

1. 利用したい（→問 1 9 へ）	2. 利用したくない（→問 1 8 へ）	3. 分からない（→問 1 9 へ）
--------------------	----------------------	--------------------

問 1 8 「Yahoo! バザールを利用したくない」と回答された方にお伺いします。
その理由は何ですか？（当てはまるもの全てに○）（→回答後、問 1 9 へ）

1. インターネットができる環境に無いから	2. 出品に会員登録費用が掛かるから
3. 手続きが難しいから、面倒だから	4. 購入希望者とメール等のやりとりで不安があるから
5. 個人情報の取り扱いに不安があるから	6. その他（ ）

（Ⅳ）すべての方にお伺いします。

問 1 9 泉大津市では、家庭から出る可燃ごみは有料の指定袋（緑色）で収集しており、平成 23 年度より指定袋の収益を地域環境基金に積み立て、ごみの減量や環境に対する施策に活用しています。今後も基金を有効に活用するため、地域環境基金事業についてのアイデアがございましたらお聞かせください。
また、指定袋制に関するご意見などもお聞かせください。（→回答後、問 2 0 へ）

（ ）

問 2 0 ご自身について、お答えできる範囲でご回答ください。

性 別	男性	女性
年 齢	20 歳未満	20 代 30 代 40 代 50 代 60 代 70 歳以上
世帯人数	1 人	2 人 3 人 4 人 5 人以上

以上で、アンケートは終了です。アンケートにつきましては、同封した返信用封筒（切手不要）にて、
3 月 6 日（水）までにお近くのポストへ投函いただきますようお願いいたします。
ご協力ありがとうございました。

泉大津市認知度アンケート調査票

泉大津市リユース促進モデル事業に関するアンケート調査

実施主体：環境省、泉大津市

泉大津市では、環境省のモデル事業として、使用済製品等のリユース促進事業を実施しております。つきましては、今後の政策の参考とさせていただきますため、以下のアンケートにご協力ください。

(同封のチラシをご参照ください。)

問1 泉大津市がリユース促進に関するモデル事業を実施していることを知っていましたか？

(当てはまるものに○)

1. 知っていた (→問2へ) 2. 知らなかった (→問3へ)

問2 問1で「1. 知っていた」と回答された方にお伺いします。どのような方法で、リユース促進モデル事業を知りましたか？(当てはまるものに○、複数回答可) (→回答後、問3へ)

1. チラシ 2. 広報紙 3. 市のホームページ 4. 市役所内に設置された掲示板を見て
5. 人から聞いた(口コミ) 6. Yahoo!バザールの紹介記事を見て(TwitterやFacebookなど)

問3 今までに、不用品あっせん掲示板を利用したことはありますか？(当てはまるものに○)

1. 利用したことが有る 2. 利用したことは無いが、知っている 3. 初めて知った

→ 問6へ

→ 問4へ

→ 問4へ

問4 同封のチラシや市のホームページ等を見て、不用品あっせん掲示板を利用したいと思いましたか？

(当てはまるものに○)

1. 利用したいと思った (→回答後、問6へ) 2. 利用したいとは思わなかった (→回答後、問5へ)

問5 問4で「2. 利用したいとは思わなかった」と回答された方にお伺いします。その理由は何ですか？

(当てはまるものに○、複数回答可) (→回答後、問6へ)

1. 出品できる物が限られているから 2. すぐに処分したいから(物の保管が困難)
3. 手続きが難しそう、面倒そうだから 4. 交渉相手とのやり取りに不安があるから
5. 個人情報の取り扱いに不安があるから 6. その他()

問6 Yahoo!バザールとは、インターネット上でお手持ちの不用品を売り買いできるサービスですが、今までにYahoo!バザールを利用したことはありますか？(当てはまるものに○)

1. 利用したことが有る 2. 利用したことは無いが、知っている 3. 初めて知った

→ 問9へ

→ 問7へ

→ 問7へ

問7 同封のチラシや市のホームページ等を見て、Yahoo!バザールを利用したいと思いましたか？

(当てはまるものに○)

1. 利用したいと思った (→回答後、問9へ) 2. 利用したいとは思わなかった (→回答後、問8へ)

問8 問7で「Yahoo!バザールを利用したいとは思わなかった」と回答された方にお伺いします。

その理由は何ですか？(当てはまるものに○、複数回答可) (→回答後、問9へ)

1. 出品に会員登録費用が掛かるから 2. すぐに処分したいから(物の保管が困難)
3. 手続きが難しそう、面倒そうだから 4. 交渉相手とのやり取りに不安があるから
5. 個人情報の取り扱いに不安があるから 6. その他()

(裏面へ)

問9 今までに、不用品をゴミとして出すときに「まだ使えるから、できれば必要な人に譲りたい」と思った経験はありますか？(当てはまるものに○) (→回答後、問10へ)

1. ある 2. ない

問10 今までの経験上、まだ使えるのにゴミとして出していた物の割合はどの程度ですか？

(当てはまるものに○) (→回答後、問11へ)

1. 1割未満 2. 1割～2割 3. 2割～3割 4. 3割～5割 5. 5割を超える

問11 問10で「まだ使えるのにゴミとして出していた物」は、どのような物ですか？

(→回答後、問12へ)

問12 1年以内に、不用品を処分するために、以下の店舗やサービス等を利用しましたか？

(利用したことのあるものに○、複数回答可)

1. リユースショップ(リサイクルショップ)
2. フリーマーケット
3. インターネットオークション
4. 友人や親せき等に譲る
5. その他()
6. 利用していない (→問13へ)

問13 問12で「6. 利用していない」と回答された方にお伺いします。利用しなかった理由は何ですか？(当てはまるものに○、複数回答可) (→回答後、問14へ)

1. 不用品が無かったから 2. すぐに処分したいから 3. 利用するのが面倒だから
4. 他人に使ってほしくないから 5. 個人情報の取り扱いに不安があるから
6. その他()

問14 泉大津市では、家庭から出る可燃ごみは有料の指定袋(緑色)で収集しており、平成23年度より指定袋の収益を地域環境基金に積み立て、ごみの減量や環境に対する施策に活用しています。今後も基金を有効に活用するため、地域環境基金事業についてのアイデアがございましたらお聞かせください。

また、指定袋制に関するご意見などもお聞かせください。 (→回答後、問15へ)

ご自由にお書きください。

問15 ご自身について、お答えできる範囲でご回答ください。

性別	男性	女性
年齢	20歳未満	20代 30代 40代 50代 60代 70歳以上
世帯人数	1人	2人 3人 4人 5人以上

以上で、アンケートは終了です。アンケートにつきましては、同封した返信用封筒(切手不要)にて、2月25日(月)までにお近くのポストへ投函いただきますようお願いいたします。

ご協力ありがとうございました。

5. 泉大津市アンケート調査の概要

5.1 調査目的

モデル事業を実施した泉大津市にて、事業成果・効果の把握および事業推進時の今後の課題・改善点を明らかにすることを目的とする。

5.2 調査対象

①利用者向けアンケート

不用品あっせん掲示板『こちら、ゆずります！』または「Yahoo! バザール」を利用した市民を対象に郵送法にて実施した。

②住民向けアンケート

泉大津市民、18歳以上、1,000件（世帯）を対象に、住民基本台帳より無作為抽出し、郵送法にて実施した。

5.3 調査期間・スケジュール

利用者向けアンケート調査は、平成25年2月21日に郵送にて調査票を発送、回答締め切りを平成25年3月6日（水）と設定した。

住民向けアンケート調査は、平成25年2月4日に郵送にて調査票を発送、回答締め切りを平成25年2月25日（月）と設定した。なお、締め切り後に到着した回答も可能な限り集計の対象とした。

5.4 回収状況

利用者向けアンケートは23件の回収（回収率60.5%）、住民向けアンケートは217件の回収（回収率21.9%）であった。

図表 1 住民向けアンケートの回収状況（住民向けアンケート）

	発送数 (A)	無効 (B)	有効発送 (C) (=A-B)	回答数 (D)	回収率 (E) (=C/D)
利用者向けアンケート	38	0	38	23	60.5%
住民向けアンケート	1,000	7	993	217	21.9%
市職員向けアンケート				35	

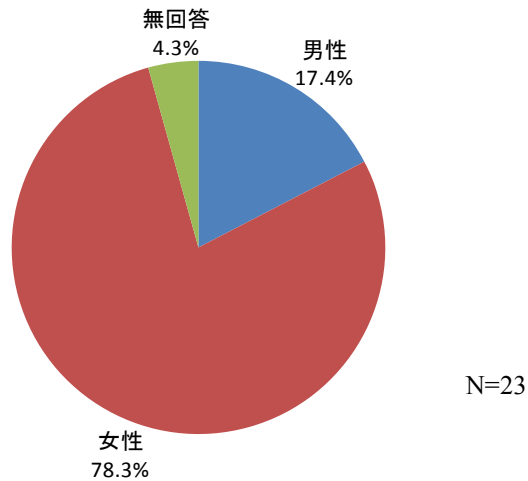
6. 利用者向けアンケート調査結果

6.1 回答者の属性

(1) 性別

性別について、「女性」が 78.3%(18 件)、「男性」が 17.4%(4 件)となった。

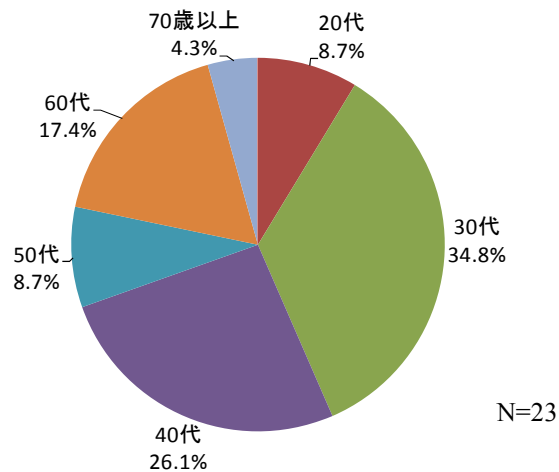
図表 2 性別（利用者向けアンケート）



(2) 年齢

年齢について、最も多かったのは「30 歳代」で 34.8%(8 件)、次いで「40 歳代」が 26.1%(6 件)、「60 歳代」が 17.4%(4 件)と続いた。

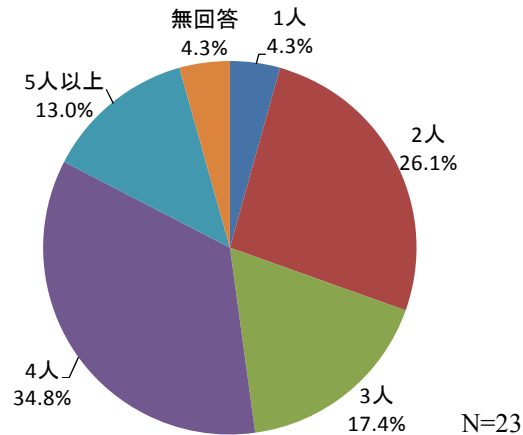
図表 3 年齢（利用者向けアンケート）



(3) 世帯人数

世帯人数について、最も多かったのは「4人」で34.8%（8件）、次いで「2人」が26.1%（6件）、「3人」が17.4%（4件）と続いた。

図表 4 世帯人数（利用者向けアンケート）

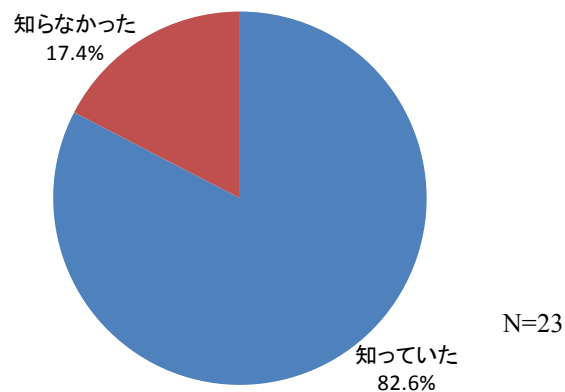


6.2 モデル事業の認知度

(1) モデル事業の認知度・認知機会

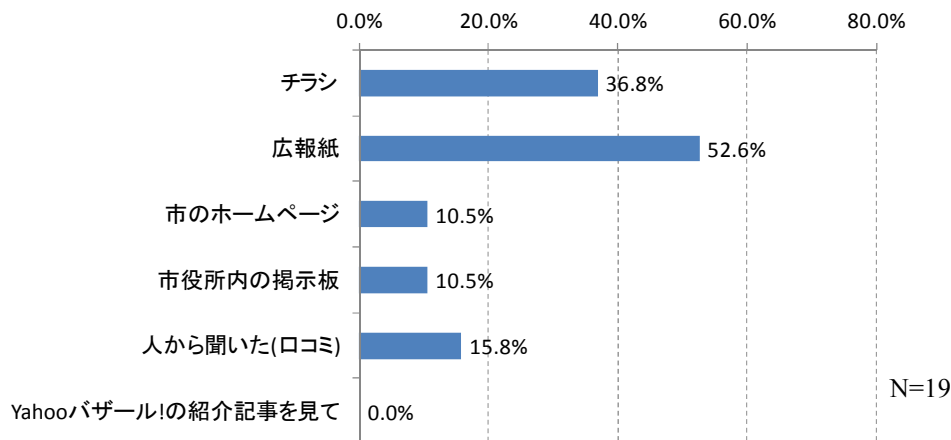
モデル事業の認知状況について、「知っていた」との回答が82.6%（19件）、「知らなかった」が17.4%（4件）となった。

図表 5 モデル事業の認知度（利用者向けアンケート）



モデル事業を「知っていた」と回答した人に、知ったきっかけを聞いた。「広報紙」との回答が最も多く 52.6%（10 件）、次いで「チラシ」が 36.8%（7 件）と続く。

図表 6 モデル事業の認知機会（利用者向けアンケート）

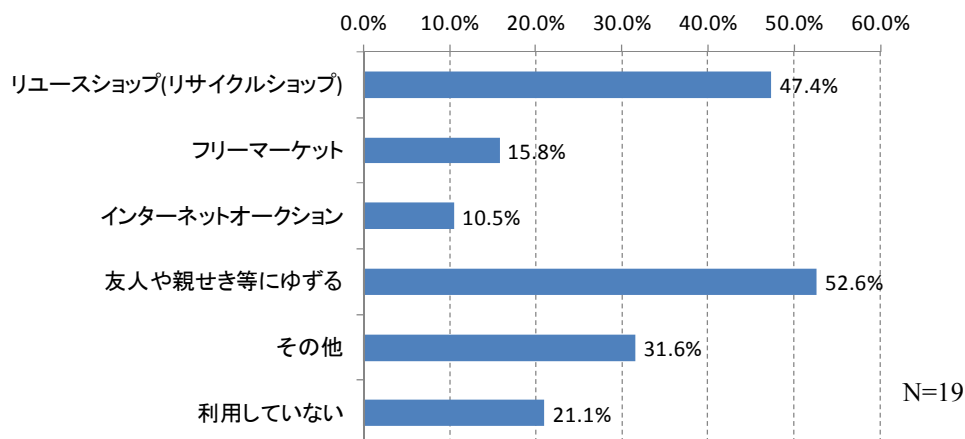


6.3 リユースへの取り組み状況

(1) 過去1年間におけるリユース品としての提供経験（不用品の処分、ゆずる等）

過去1年間におけるリユース品としての提供経験（不用品を処分、ゆずる等）について、「友人や親せき等にゆずる」との回答が最も多く 52.6%（10 件）、「リユースショップ」が 47.4%（9 件）、「その他」が 31.6%（6 件）となっている。また、「利用していない」との回答は 21.1%（4 件）であった。

図表 7 過去1年間におけるリユース品としての提供経験（利用者向けアンケート）（複数回答）

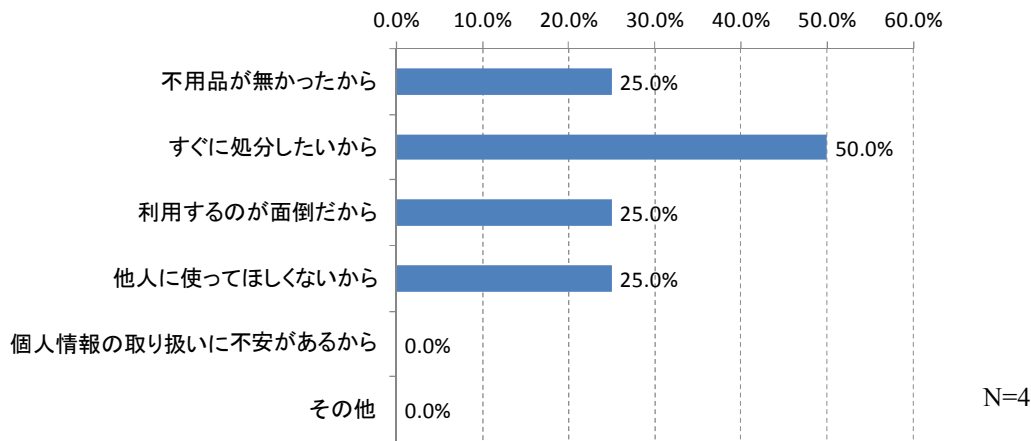


【その他の具体的な記載】

- 不用品あっせん掲示板「こちら、ゆずります！」（4 件）
- 引取業者（不用品回収業者）
- 障がい者施設へ

過去1年間に、リユース品として提供していないと回答した人の理由は、「すぐに処分したいから」との回答が最も多く50.0%（2件）、「不用品が無かったから」、「利用するのが面倒だから」、「他人に使ってほしくないから」がそれぞれ25.0%（1人）となっている。

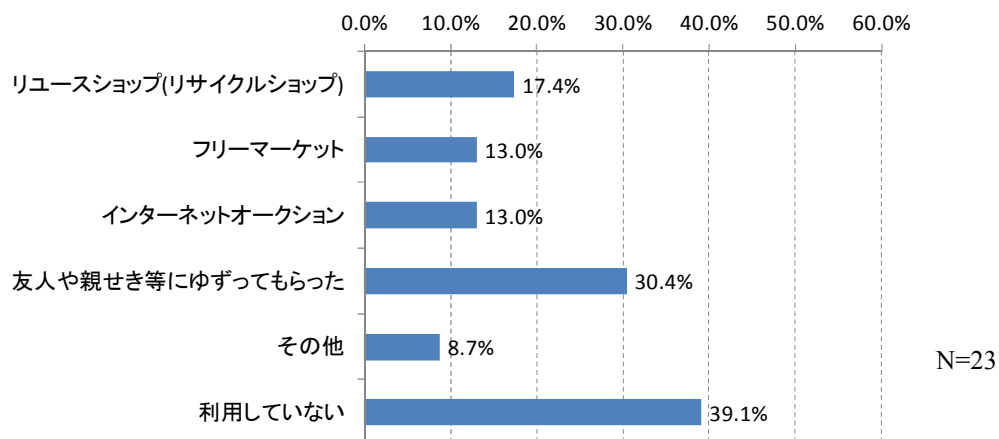
図表 8 リユース品として提供していない理由（利用者向けアンケート）（複数回答）



(2) 過去1年間のリユース品の購入経験（不用品や中古品の購入、ゆずってもらう等）

過去1年間におけるリユース品の購入・入手経験（不用品や中古品の購入、ゆずってもらう等）について、「利用していない」との回答が最も多く39.1%（9件）となっている。「友人や親せき等にゆずってもらった」が30.4%（7件）、「リユースショップ」が17.4%（4件）、「フリーマーケット」「インターネットオークション」がそれぞれ13.0%（3件）となっている。

図表 9 過去1年間におけるリユース品の購入経験（利用者向けアンケート）（複数回答）

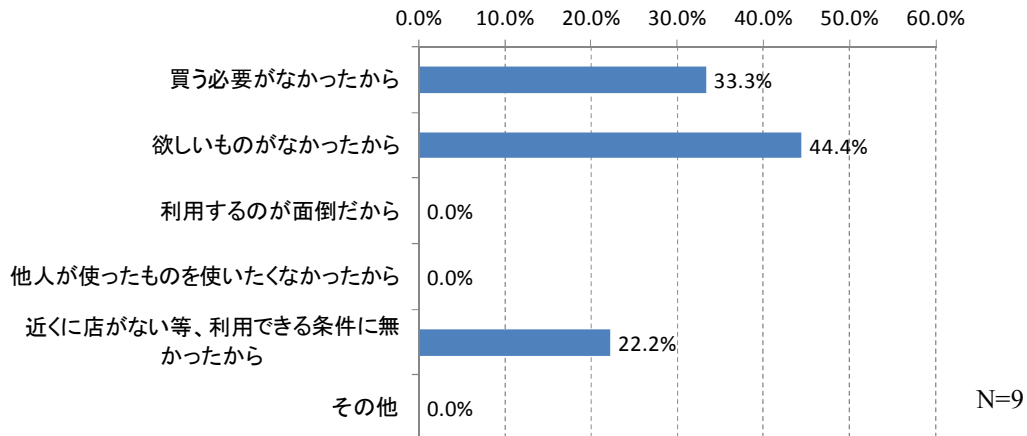


【その他の具体的な記載】

- 古本屋
- インターネットショッピングサイト（アマゾン）での中古品購入

過去1年間に、リユース品の購入・入手をしていないと回答した人の理由は、「欲しいものがなかったから」との回答が最も多く44.4%（4件）、次いで「買う必要がなかったから」33.3%（3件）、「近くに店がない等、利用できる条件に無かったから」が22.2%（2件）となっている。

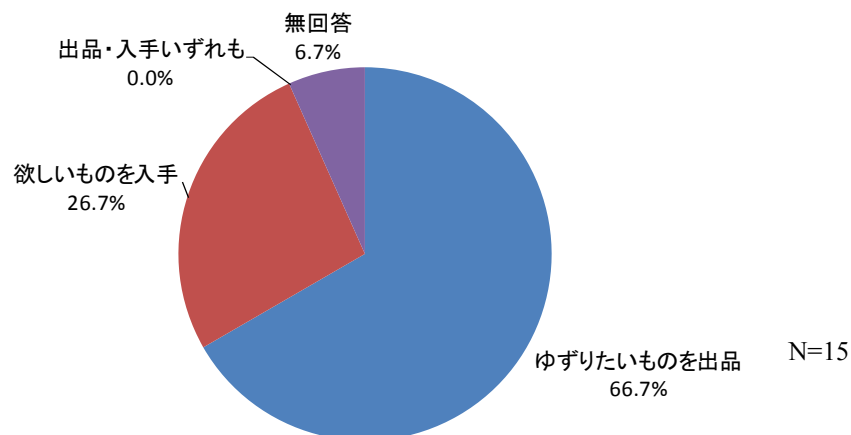
図表 10 リユース品を購入していない理由（利用者向けアンケート）（複数回答）



6.4 不用品あっせん掲示板『こちら、ゆずります！』の利用状況

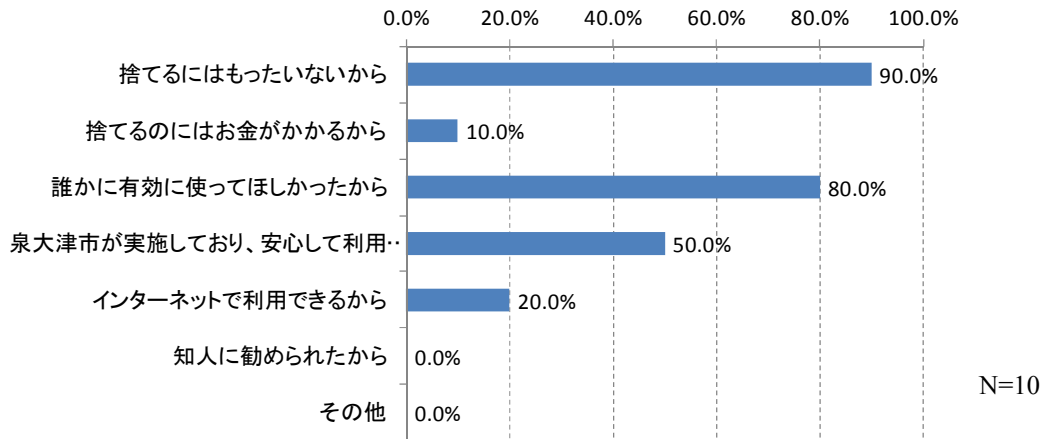
不用品あっせん掲示板『こちら、ゆずります！』の利用状況について、「ゆずりたいものを出品」との回答が66.7%（10件）、「欲しいものを入手」が26.7%（4件）となっている。

図表 11 不用品あっせん掲示板の利用状況（利用者向けアンケート）



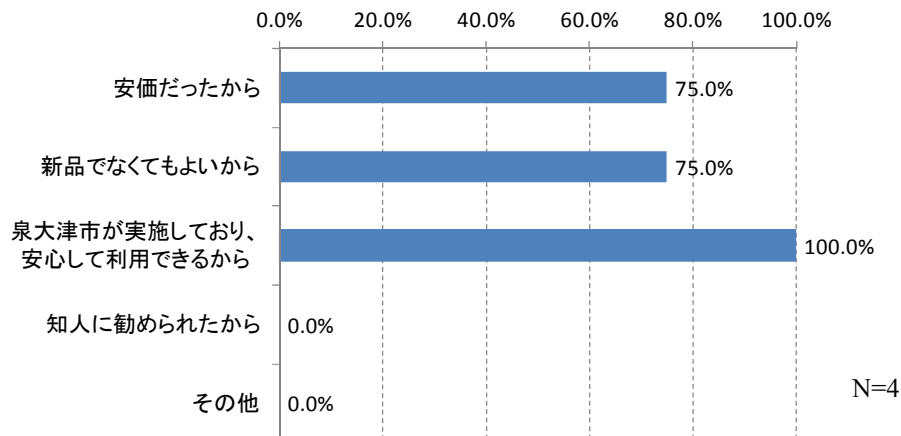
「ゆずりたいものを出品した」と回答した人の理由は「捨てるにはもったいないから」が90.0%（9件）、「誰かに有効に使って欲しかったから」が80.0%（8件）、「泉大津市が実施しており、安心して利用できるから」が50.0%（5件）となっている。

図表 12 ゆずりたいものを出品した人の理由（利用者向けアンケート）（複数回答）



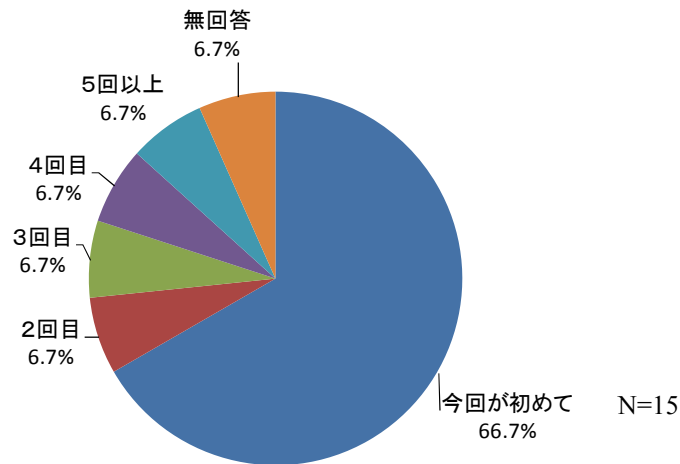
同様に、「欲しいものを入手した」と回答した人の理由は、「泉大津市が実施しており、安心して利用できるから」は全ての回答者が選んでいる（100.0%、4件）。次いで、「安価だったから」「新品でなくてもよいから」がそれぞれ75.0%（3件）となっている。

図表 13 欲しいものを入手した人の理由（利用者向けアンケート）（複数回答）



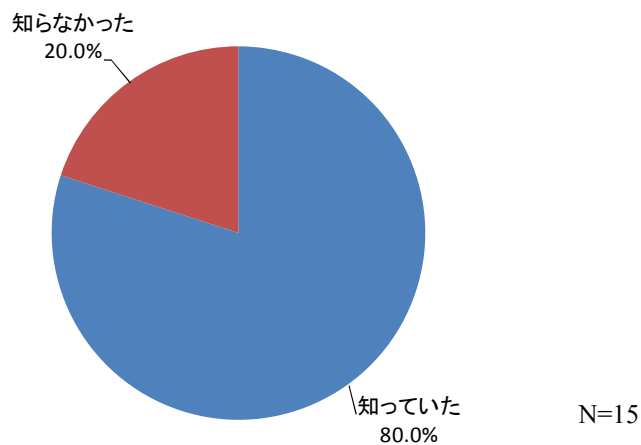
「不用品あっせん掲示板の利用回数」について、「今回が初めて」との回答が最も多く 66.7%（10 件）、「2 回目」「3 回目」「4 回目」「5 回以上」がそれぞれ 6.7%（1 件）であった。

図表 14 不用品あっせん掲示板の利用回数（利用者向けアンケート）



本モデル事業において不用品あっせん掲示板をリニューアルしたが、以前から不用品あっせん掲示板があったことに対する認知度を把握した。「知っていた」との回答が 80.0%（12 人）、「知らなかった」が 20.0%（3 件）となっている。

図表 15 リニューアル前の不用品あっせん掲示板の認知度（利用者向けアンケート）

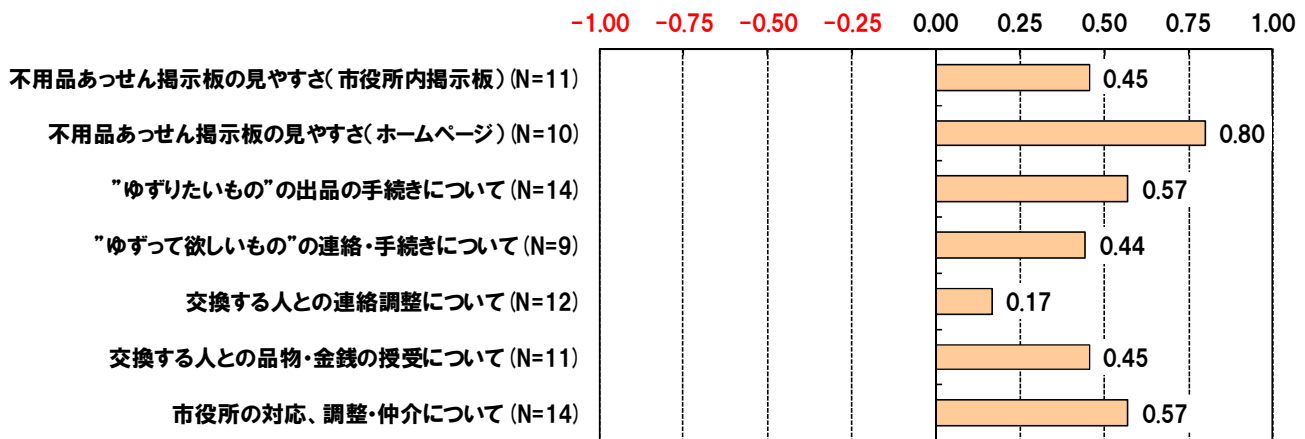


不用品あっせん掲示板を利用した際の各項目についての満足度をスコア化して整理したところ、いずれの項目も正の値を取っており、全体的に満足度は高いことが伺える。

「不用品あっせん掲示板の見やすさ(ホームページ)」が最も満足度が高く 0.80 ポイント、次いで「ゆずりたいもの」の出品の手続きについて、「市役所の対応、調整・仲介について」がそれぞれ 0.57 となっている。

一方、「交換する人との連絡調整について」は 0.17 ポイントとなっており、他の項目と比較すると満足度が低い。

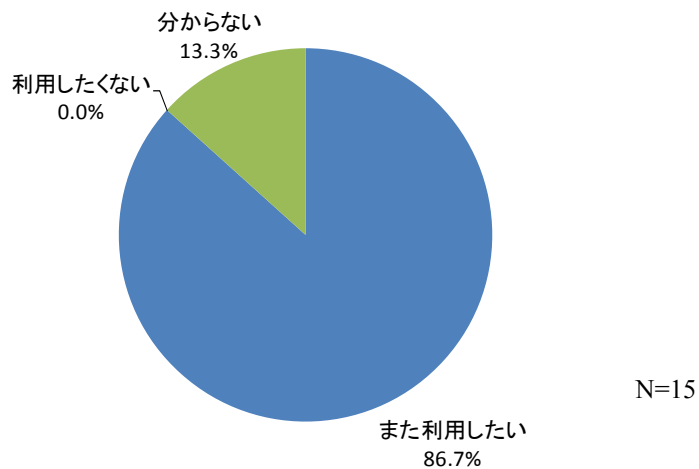
図表 16 不用品あっせん掲示板利用時の満足度（利用者向けアンケート）



※満足度を 2 点、やや満足度を 1 点、普通を 0 点、やや不満を -1 点、不満を -2 点とし点数化、回答数で除することでスコア化する。

不用品あっせん掲示板の今後の利用意向について、「また利用したい」との回答が 86.7% (13 件)、「分からない」が 13.3% (2 件) となっている。「利用したくない」との回答はなかった。

図表 17 不用品あっせん掲示板の今後の利用意向（利用者向けアンケート）



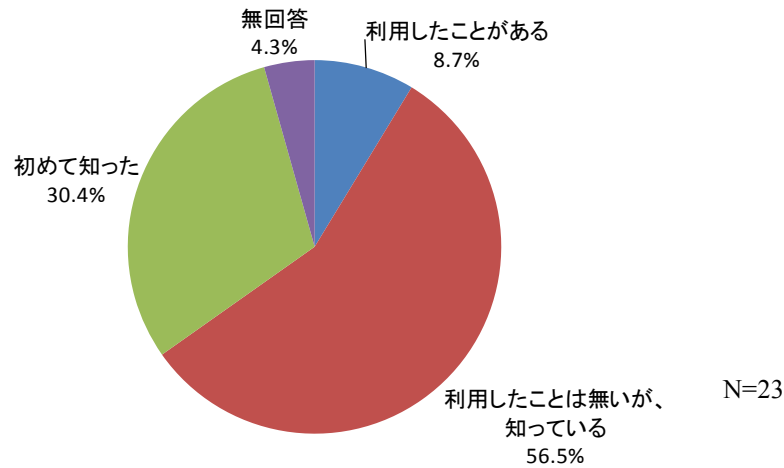
図表 18 不用品あっせん掲示板を利用した感想・今後の改善点

- 以前は市役所掲示板に行かないと写真が見られませんでしたので、なかなか利用できませんでしたが HP に写真が出る様になり、またゆずりたいものもメールできるので、とても便利になり利用しました。これからも双方で利用したいと思います。
- 売れない商品をいつまでも置いておくのが嫌なので、出品期間を最長〇ヶ月以内であれば出品者が決められるようにしてほしい
- 1 人出品上限 2 品までというのも無くしてもらえるとたくさん出品できて良いです
- 写真を 2~3 枚載せられると助かります
- 掲示板以外にも泉大津市主導でフリーマーケットを開催してほしいです
- 過去（5 年以上前）に介護用品と子供用自転車をゆずったことがあります。即、欲しいという人が引き取りに来られました。こちらもよろこんで使ってくださいる人がいるとうれしいです
- マンションに住んでいます。3 月になると引越しされる人が多くいます。不用品がたくさん出ます。引越し不用品を一括引き受ける窓口があってもいいのでは...?"
- ゆずりたいものの最高値が¥1,000 となると限られてくる。¥3,000 くらいにしてほしい
- ゆずってほしい人が現れたかわからないうちに、いきなり携帯に連絡されると不審電話かと思い、連絡が遅れてしまった。現れたときには事前に知らせてほしい。
- まだまだ認知度が低いので幼稚園や小学校に手紙をだすなどして広めてほしい。また物品の受け渡しを仲介してもらえると、もっと利用しやすいと思う
- 場所がわるい
- また見に来たい、楽しみだ
- 売買するとき、住所や電話番号、家が相手にわかるのが不満、市役所で仲介してほしい。
- 中古のブーツをゆずってもらいました。とても良い方でした。私も捨てる際には、リサイクルショップ（引き取ってはもらえるがタダに近い値段）へ持っていく前に、掲示板に載せてからにしようと思います。
- 交渉中になっていると聞かされてから、相手の連絡がなかなかこなく、いつまでも交渉中になって、次のステップに進めない。

6.5 『Yahoo! バザール』の利用状況

『Yahoo! バザール』の認知・利用状況について、「利用したことはないが、知っている」との回答が最も多く 56.5%（13 件）、次いで「初めて知った」が 30.4%（7 件）。「利用したことがある」との回答は 8.7%（2 件）であった。

図表 19 『Yahoo! バザール』の認知・利用状況（利用者向けアンケート）



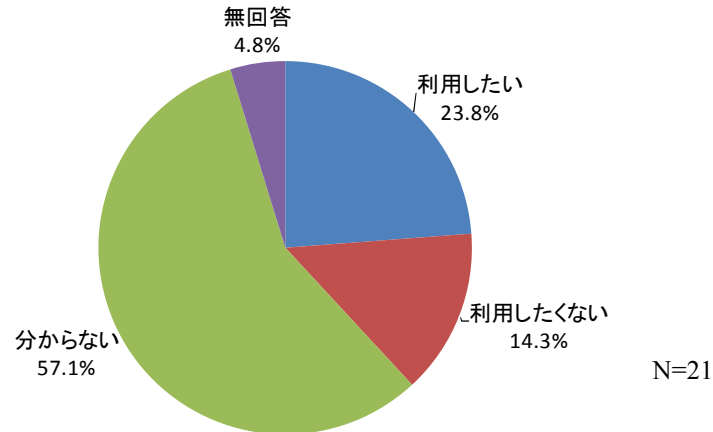
『Yahoo! バザール』を利用したことがあると回答した人の利用内容については、「ゆずりたいものを出品」「欲しいものを入手」「出品・入手のいずれも」との回答が 1 名、「登録のみ」との回答が 1 名であった。

ゆずりたいものを出品した理由については、「捨てるのにはもったいないから」、また、欲しいものを入手した理由については「安価そうだったから」との回答であった。

また、『Yahoo! バザール』をまた利用したいと思うかとの設問については「利用したくない」が 1 名、「分からない」が 1 名となっている。

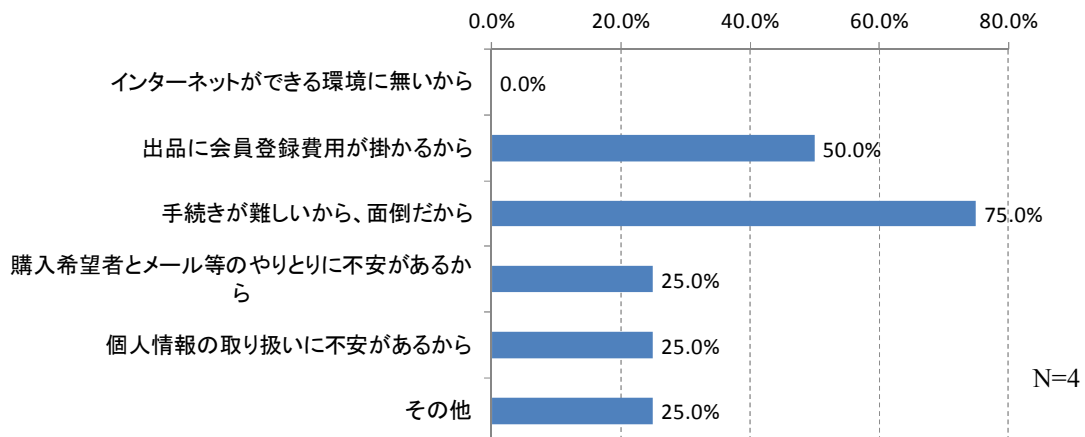
『Yahoo! バザール』を利用したことがない人に対して、利用意向について設問した。「分からない」との回答が最も多く 57.1%（12 件）、「利用したい」が 23.8%（5 件）、「利用したくない」が 14.3%（3 件）となっている。

図表 20 『Yahoo! バザール』の利用意向（利用者向けアンケート）



利用したくない理由としては、「手続きが難しいから、面倒だから」との回答が最も多く 75.0%（3 件）、「出品に会員登録費用が掛かるから」が 50.0%（2 件）、「購入希望者とメール等のやりとりに不安があるから」、「個人情報の取り扱いに不安があるから」、「その他」が各 25.0%（1 件）となっている。

図表 21 『Yahoo! バザール』を利用したくない理由（利用者向けアンケート）（複数回答）



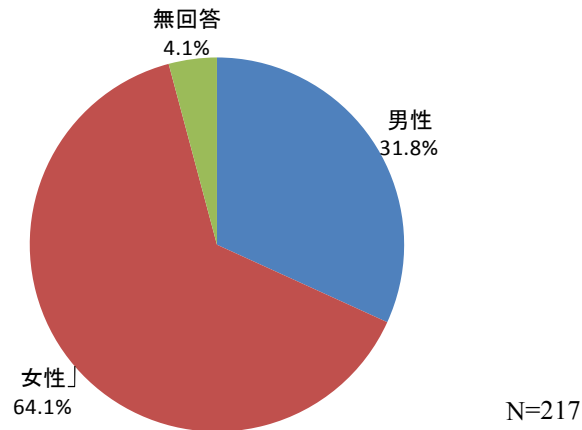
7. 住民向けアンケート調査結果

7.1 回答者の属性

(1) 性別

性別について、「女性」が 64.1%(139 件)、「男性」が 31.8%(69 件)となった。

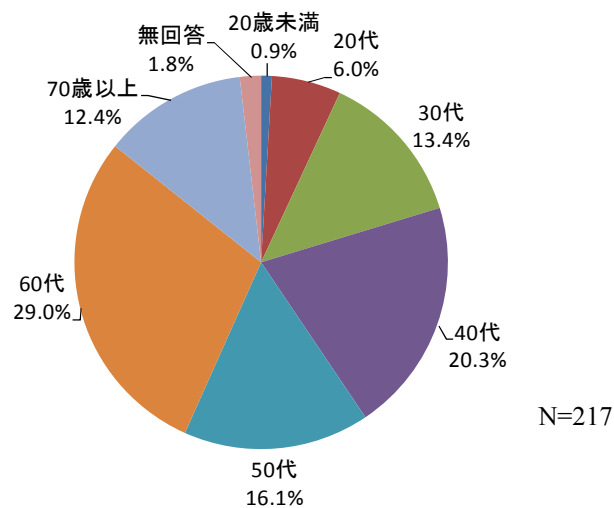
図表 22 性別（住民向けアンケート）



(2) 年齢

年齢について、最も多かったのは「60 歳代」で 29.0%(63 件)、次いで「40 歳代」が 20.3%(44 件)、「50 歳代」が 16.1%(35 件)と続いた。

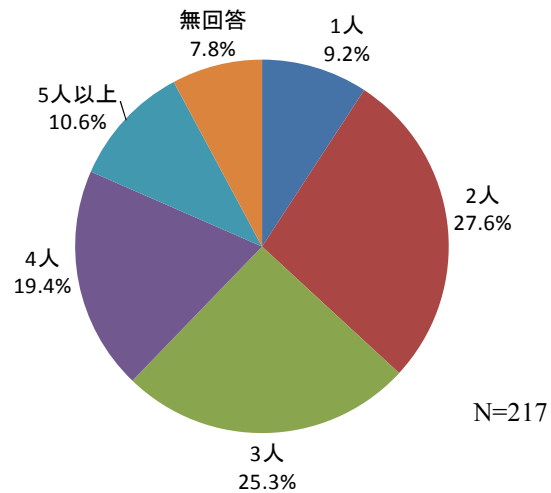
図表 23 年齢（住民向けアンケート）



(3) 世帯人数

世帯人数について、最も多かったのは「2人」で27.6%（60件）、次いで「3人」が25.3%（55件）、「4人」が19.4%（42件）と続いた。

図表 24 世帯人数（住民向けアンケート）

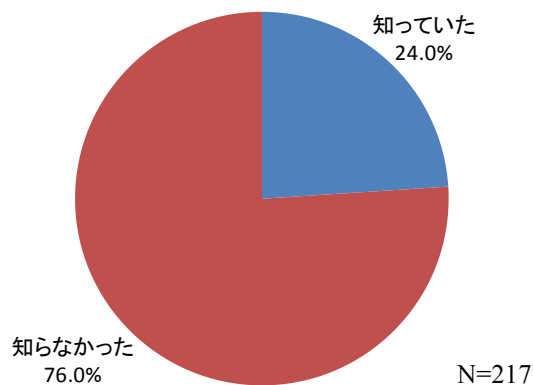


7.2 モデル事業の認知度・利用状況

(1) モデル事業の認知度・認知機会

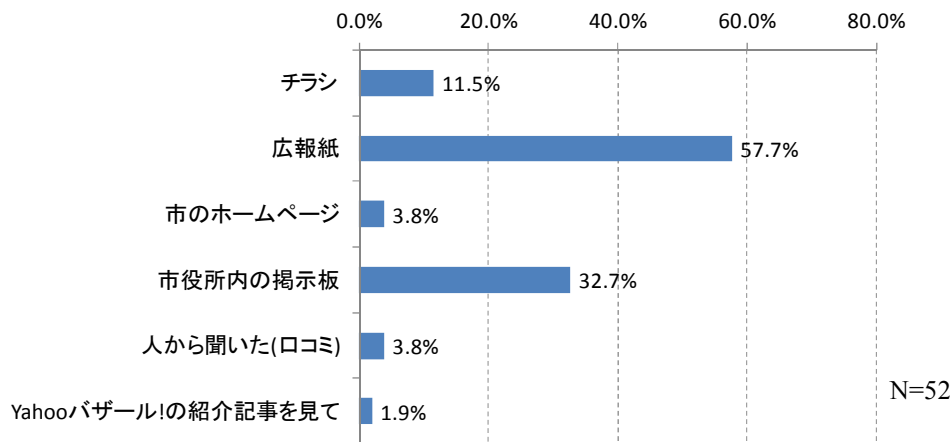
モデル事業の認知状況について、「知っていた」との回答が24.0%（52件）、「知らなかった」が76.0%（165件）となった。アンケート回答者の約1/4（24.0%）がモデル事業について「知っていた」と回答している。

図表 25 モデル事業の認知度（住民向けアンケート）



モデル事業を「知っていた」と回答した人に、知ったきっかけを聞いた。「広報紙」との回答が最も多く57.7%（30件）、次いで「市役所内の掲示版」が32.7%（17件）、「チラシ」が11.5%（6件）と続く。

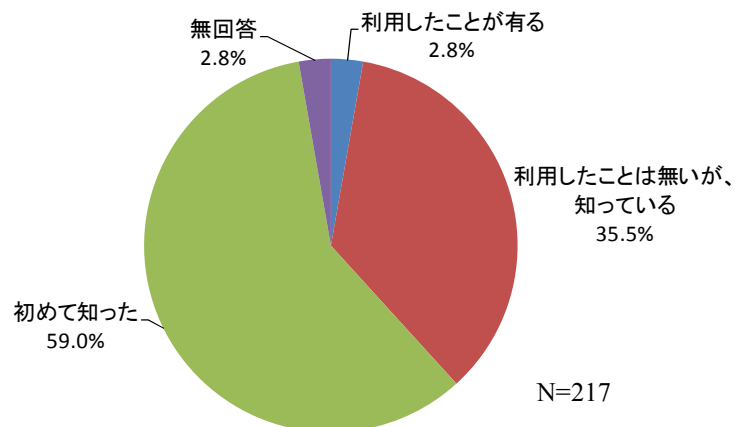
図表 26 モデル事業の認知度機会（住民向けアンケート）（複数回答）



(2) 不用品あっせん掲示板の利用状況・利用意向

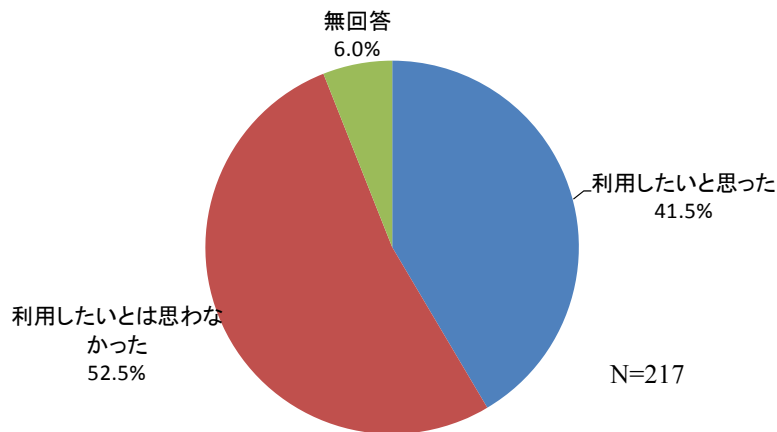
不用品あっせん掲示板の認知・利用状況について、「初めて知った」との回答が最も多く 59.0%（128 件）、「利用したことは無いが、知っている」が 35.5%（77 件）、「利用したことがある」が 2.8%（6 件）となっている。

図表 27 不用品あっせん掲示板の利用状況（住民向けアンケート）



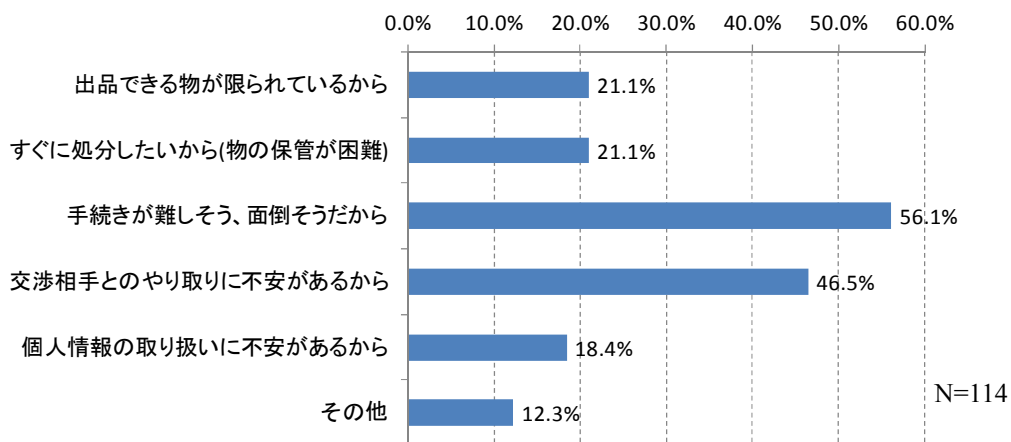
不用品あっせん掲示板の利用意向について、「利用したいと思った」との回答は 41.5%（90 件）、「利用したいとは思わなかった」との回答は 52.5%（114 件）となっている。

図表 28 不用品あっせん掲示板の利用意向（住民向けアンケート）



「不用品あっせん掲示板を利用したいと思わなかった」理由について、「手続きが難しそう、面倒そうだから」との回答が最も多く 56.1%（64 件）、次いで「交渉相手とのやり取りに不安があるから」が 46.5%（53 件）、「出品できる物が限られているから」と「すぐに処分したいから」との回答がそれぞれ 21.1%（24 件）、「個人情報の取り扱いに不安があるから」が 18.4%（21 件）と続く。

図表 29 不用品あっせん掲示板を利用したいと思わない理由
（住民向けアンケート）（複数回答）



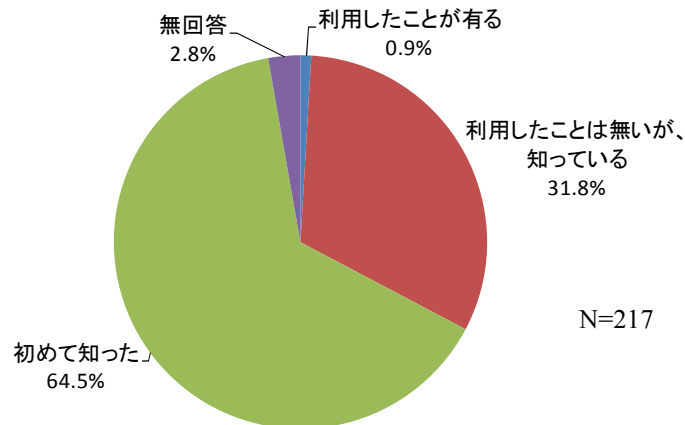
【その他の具体的な記載】

- 新品がいいから
- 中古品は気持ち悪くて使用できないから
- 潔癖症のため、見た目に汚れていると触ることができないから
- 自分でオークション等を利用し、処分しているから（2 件）
- パソコンを持っていない（2 件）
- 今現在、出品するものがないから
- 市内だと知人がたくさんいるから
- 写真をとってまでして市役所に申し込みに行くのが面倒だし、そこまでの時間がない
- 市など公共で行う事業でないから
- 障害者にて交渉にいけない
- 高齢のため

(3) 『Yahoo! バザール』の利用状況・利用意向

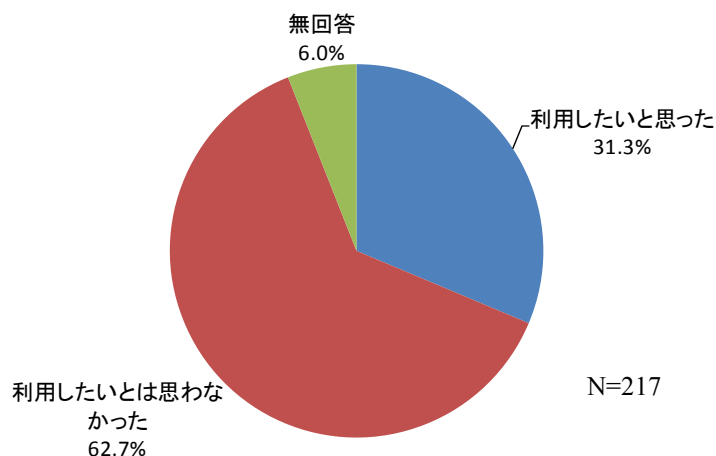
『Yahoo! バザール』の認知・利用状況について、「初めて知った」との回答が最も多く 64.5%（140 件）、「利用したことは無いが、知っている」が 31.8%（69 件）、「利用したことがある」が 0.9%（2 件）となっている。

図表 30 『Yahoo! バザール』の利用状況（住民向けアンケート）



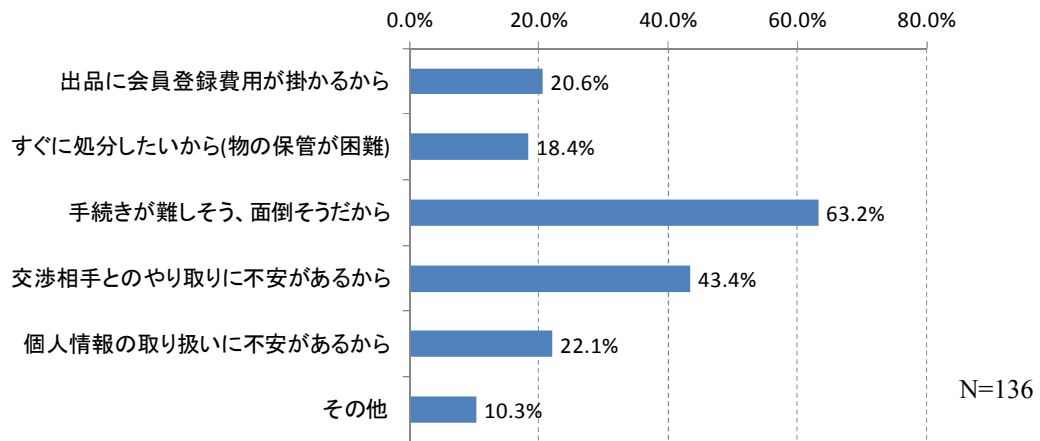
『Yahoo! バザール』の利用意向について、「利用したいと思った」との回答は 31.3%（68 件）、「利用したいとは思わなかった」との回答は 62.7%（136 件）となっている。

図表 31 『Yahoo! バザール』の利用意向（住民向けアンケート）



『Yahoo! バザール』を利用したいとは思わなかった理由について、「手続きが難しそう、面倒そうだから」との回答が最も多く 63.2%（86 件）、次いで「交渉相手とのやり取りに不安があるから」が 43.4%（59 件）、「個人情報の取り扱いに不安があるから」が 22.1%（30 件）、「出品に会員登録費用が掛かるから」が 20.6%（28 件）と続く。

図表 32 『Yahoo! バザール』を利用したいと思わない理由（住民向けアンケート）（複数回答）



【その他の具体的な記載】

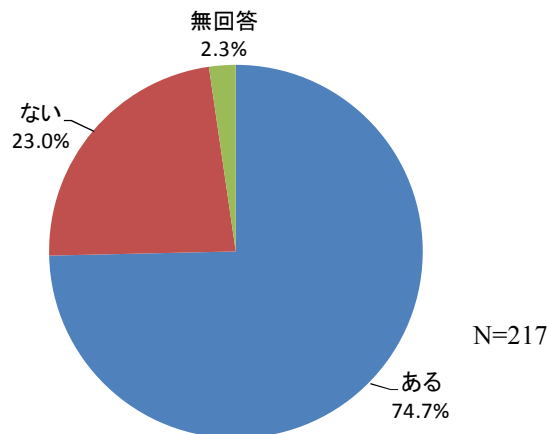
- ヤフーオークションを使っているから（3件）
- インターネットができないから（4件）
- パソコンがないから（3件）
- 高齢者だから
- 直接手にして決めたいから
- 新品が良いから

7.3 リユースに関する意識・利用実態

(1) 不用品に含まれるリユース可能なものについて

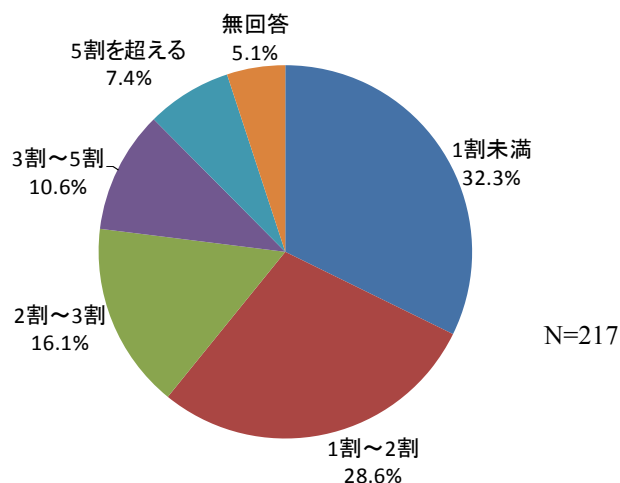
「不用品をゴミとして出すときに人に譲りたいと思ったことがあるか」との設問に対して、「ある」との回答が 74.7% (162 件)、「ない」が 23.0% (50 件) となっている。

図表 33 不用品をゴミとして出すときに譲りたいと思った経験の有無
(住民向けアンケート)



まだ使えるのにゴミとして出していた物の割合としては、「1割未満」との回答が最も多く 32.3% (70 件)、次いで「1割～2割」が 28.6% (62 件)、「2割～3割」が 16.1% (35 件) と続く。

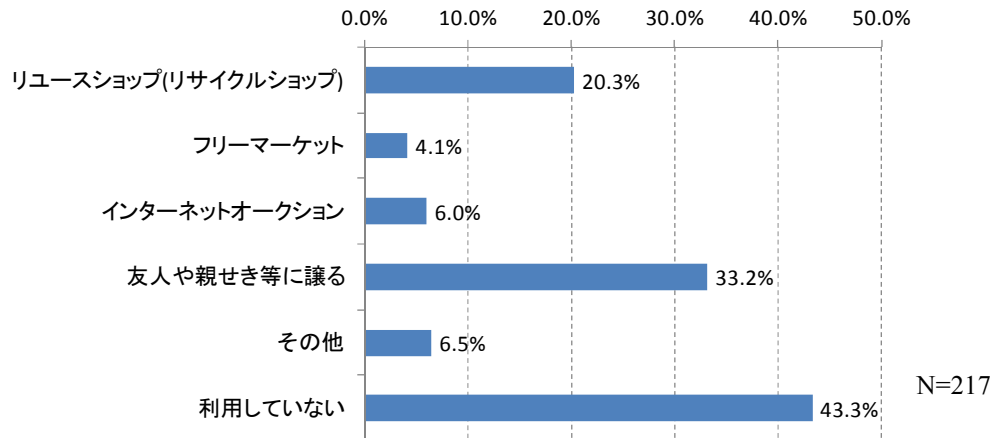
図表 34 まだ使えるのにゴミとして出していた物の割合 (住民向けアンケート)



(2) 日頃のリユース行動について

不用品を処分する際のリユースについて、「利用していない」との回答が最も多く 43.3% (94 件)、次いで「友人や親せき等に譲る」が 33.2% (72 件)、「リユースショップ」が 20.3% (44 件) と続く。

図表 35 不用品を処分する際のリユース実態（住民向けアンケート）（複数回答）

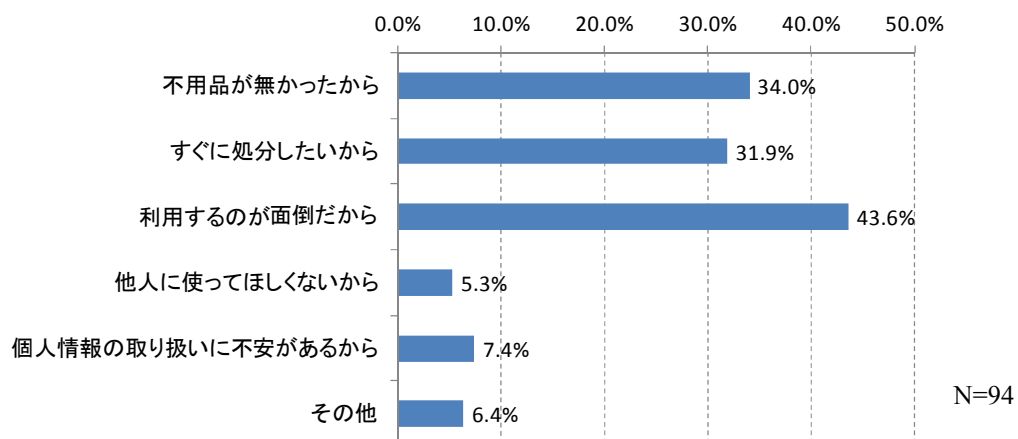


【その他の具体的な記載】

- 市の行政回収（粗大ごみなど）（4 件）
- 廃品回収・不用品回収業者（4 件）
- 自治会・町内会・子ども会（3 件）
- 市のエコマーケットなどへ寄付（2 件）

「利用していない」と回答した理由として、「利用するのが面倒だから」との回答が最も多く 43.6% (41 件)、「不用品が無かったから」が 34.0% (32 件)、「すぐに処分したいから」が 31.9% (30 件) と続く。

図表 36 リユースをしない理由（住民向けアンケート）（複数回答）



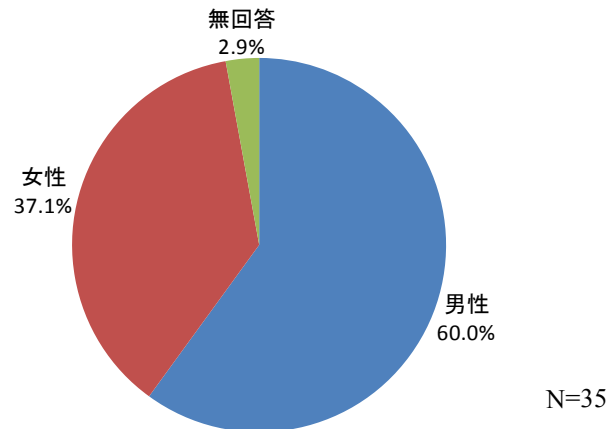
8. 市職員向けアンケート調査結果

8.1 回答者の属性

(1) 性別

性別について、「男性」が 60.0%(21 件)、「女性」が 37.1%(13 件)となった。

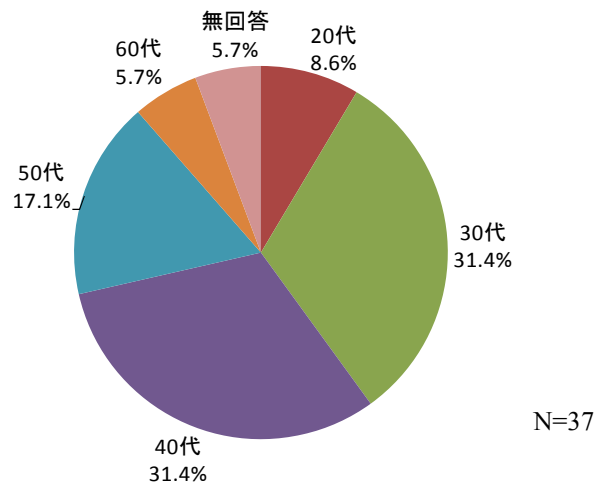
図表 37 性別（市職員向けアンケート）



(2) 年齢

年齢について、最も多かったのは「30 歳代」と「40 歳代」で、共に 31.4%(それぞれ 11 件)、次いで「50 歳代」が 17.1%（6 件）と続いた。

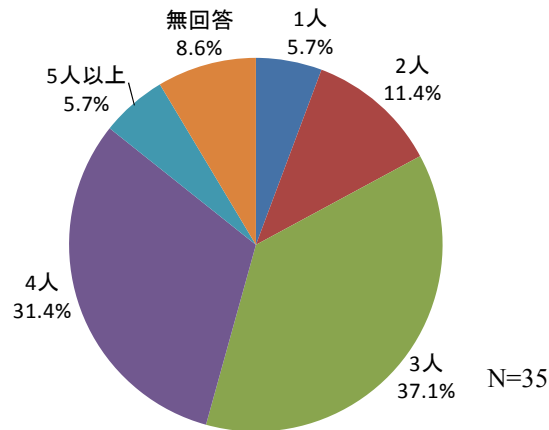
図表 38 年齢（市職員向けアンケート）



(3) 世帯人数

世帯人数について、最も多かったのは「3 人」で 37.1%（13 件）、次いで「4 人」が 31.4%（11 件）、「1 人」が 11.4%（4 件）と続いた。

図表 39 世帯人数（市職員向けアンケート）

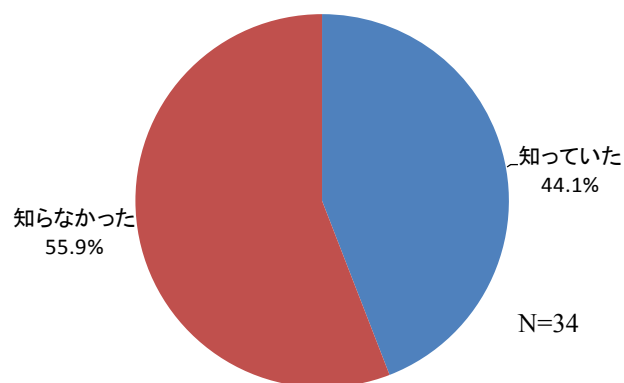


8.2 モデル事業の認知度・利用状況

(1) モデル事業の認知度・認知機会

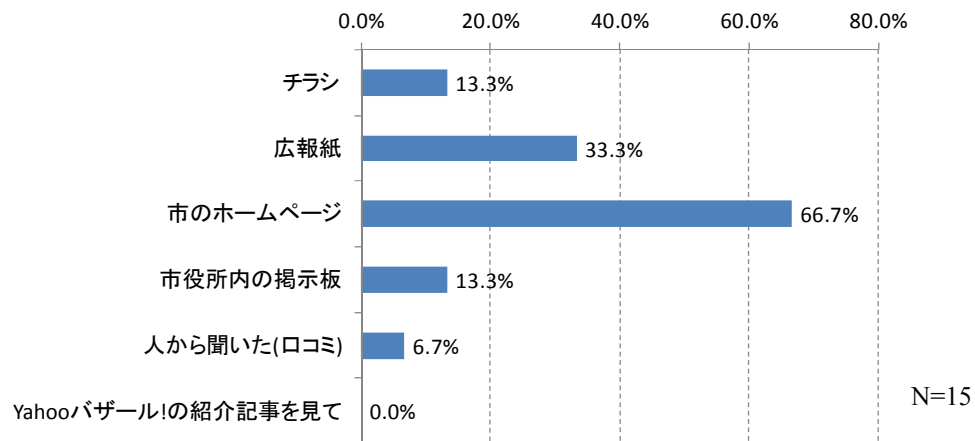
モデル事業の認知状況について、「知っていた」との回答が 44.1%（15 件）、「知らなかった」が 55.9%（19 件）となった。アンケート回答者の約 4 割がモデル事業について「知っていた」と回答している。

図表 40 モデル事業の認知度（市職員向けアンケート）



モデル事業を「知っていた」と回答した人に、知ったきっかけを聞いた。「市のホームページ」が最も多く 66.7%（10 件）、次いで「広報紙」が 33.3%（5 件）、「チラシ」が 13.3%（2 件）と続く。

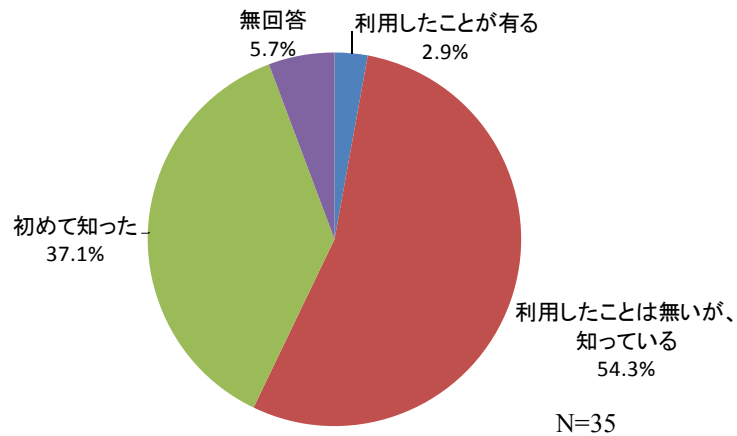
図表 41 モデル事業の認知度機会（市職員向けアンケート）（複数回答）



(2) 不用品あっせん掲示版の利用状況・利用意向

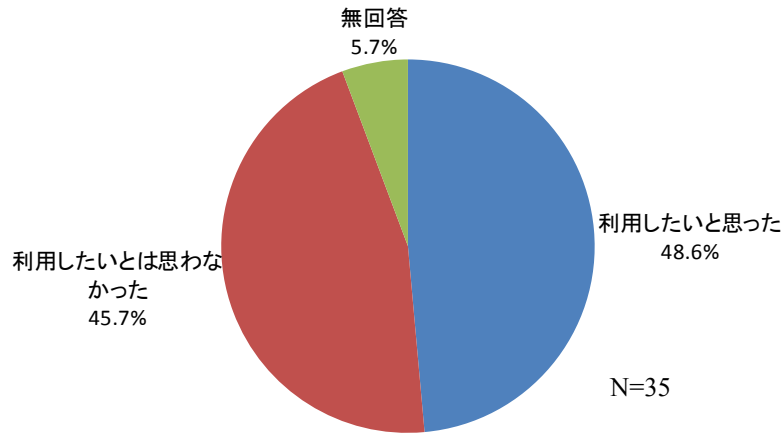
不用品あっせん掲示版の認知・利用状況について、「利用したことは無いが、知っている」の回答が最も多くが54.3%（19件）で、「初めて知った」が37.1%（13件）となっている。「利用したことが有る」は、2.9%（1件）に留まっている。

図表 42 不用品あっせん掲示版の利用状況（市職員向けアンケート）



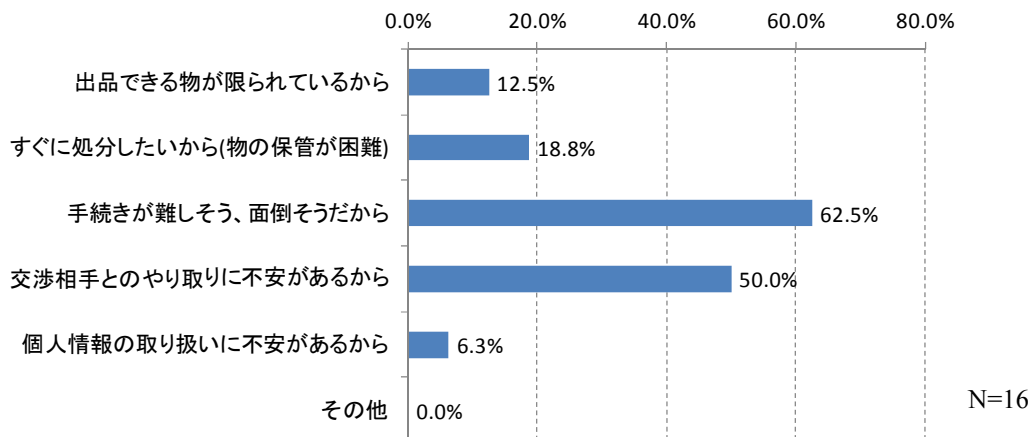
不用品あっせん掲示板の利用意向について、「利用したいと思った」との回答は 48.6% (17 件)、「利用したいとは思わなかった」との回答は 45.7% (16 件) となっている。

図表 43 不用品あっせん掲示板の利用意向（市職員向けアンケート）



「不用品あっせん掲示板を利用したいと思わなかった」理由について、「手続きが難しそう、面倒そうだから」との回答が最も多く 62.5% (10 件)、次いで「交渉相手とのやり取りに不安があるから」が 50.0% (8 件)、「すぐに処分したいから」がそれぞれ 18.8% (3 件) と続く。

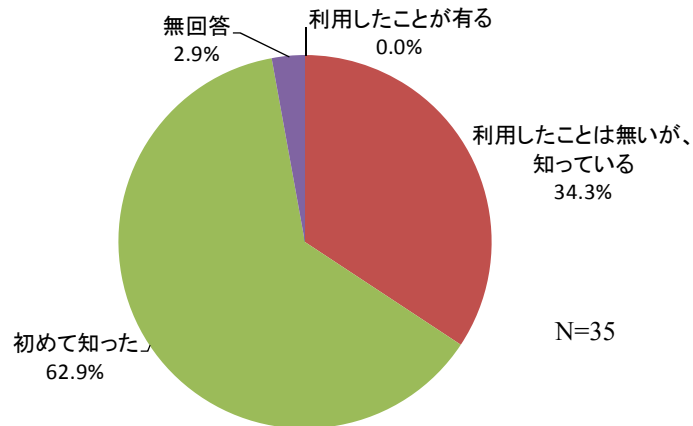
図表 44 不用品あっせん掲示板を利用したいと思わない理由
（市職員向けアンケート）（複数回答）



(3) 『Yahoo! バザール』の利用状況・利用意向

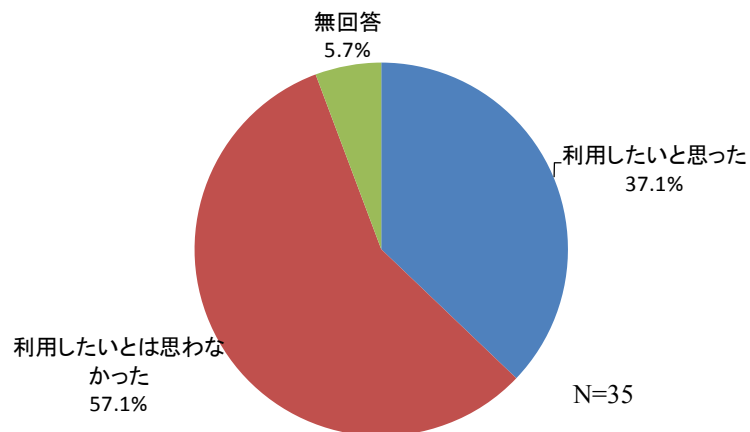
『Yahoo! バザール』の認知・利用状況について、「初めて知った」との回答が最も多く 62.9%（22 件）、「利用したことは無いが、知っている」が 34.3%（12 件）となっており、「利用したことがある」との回答はなかった。

図表 45 『Yahoo! バザール』の利用状況（市職員向けアンケート）



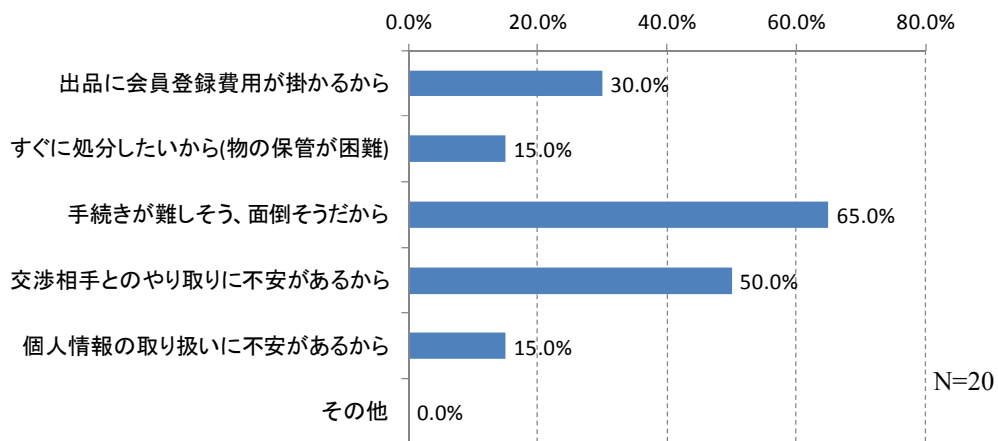
『Yahoo! バザール』の利用意向について、「利用したいと思った」との回答は 37.1%（13 件）、「利用したいとは思わなかった」との回答は 57.1%（20 件）となっている。

図表 46 『Yahoo! バザール』の利用意向（市職員向けアンケート）



『Yahoo! バザール』を利用したいと思わなかった理由について、「手続きが難しそう、面倒そうだから」との回答が最も多く 65.0%（13 件）、次いで「交渉相手とのやり取りに不安があるから」が 50.0%（10 件）、「出品に会員登録費用が掛かるから」が 30.0%（6 件）と続く。

図表 47 『Yahoo! バザール』を利用したいと思わない理由
(市職員向けアンケート) (複数回答)

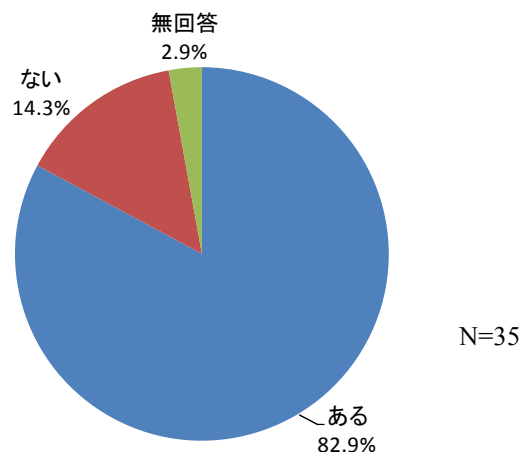


8.3 リユースに関する意識・利用実態

(1) 不用品に含まれるリユース可能なものについて

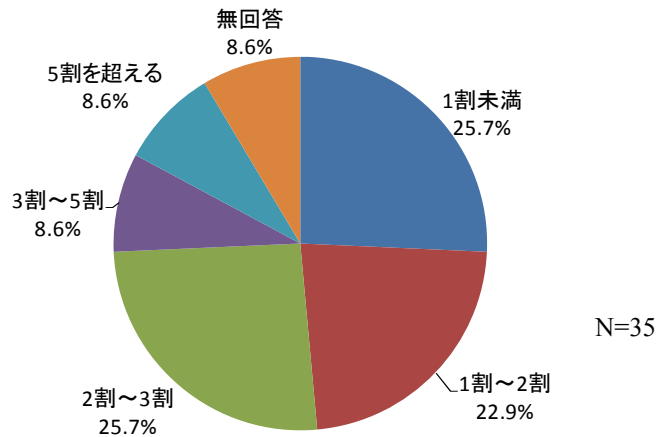
「不用品をゴミとして出すときに人に譲りたいと思ったことがあるか」との設問に対して、「ある」との回答が 82.9%（29 件）、「ない」が 14.3%（5 件）となっている。

図表 48 不用品をゴミとして出すときに譲りたいと思った経験の有無
(市職員向けアンケート)



まだ使えるのにゴミとして出していた物の割合としては、「1割未満」と「2割～3割」がの回答が最も多く **25.7%**（9 件）で、次いで「1割～2割」が **22.9%**（8 件）と続く。

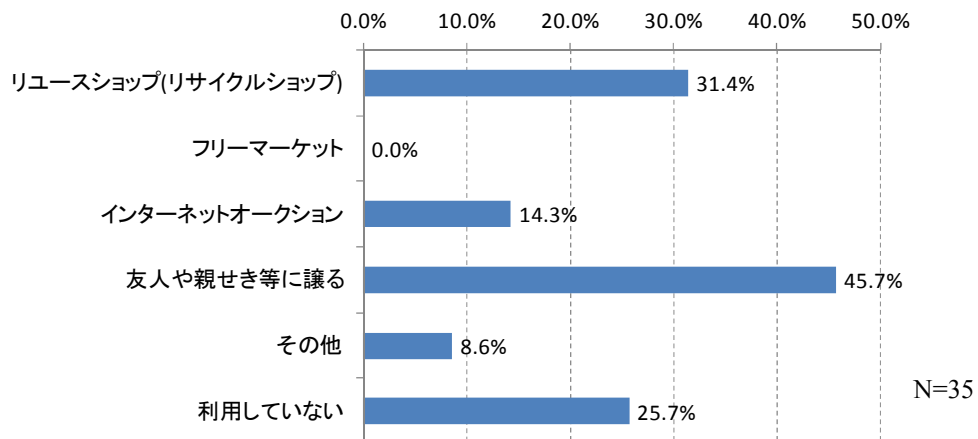
図表 49 まだ使えるのにゴミとして出していた物の割合（市職員向けアンケート）



(2) 日頃のリユース行動について

不用品を処分する際のリユースについて、「友人や親せき等に譲る」がもっとも多く、**45.7%**（16 件）、次いで「利用していない」**25.7%**（9 件）、「リユースショップ」が **31.4%**（11 件）と続く。

図表 50 不用品を処分する際のリユース実態（市職員向けアンケート）（複数回答）

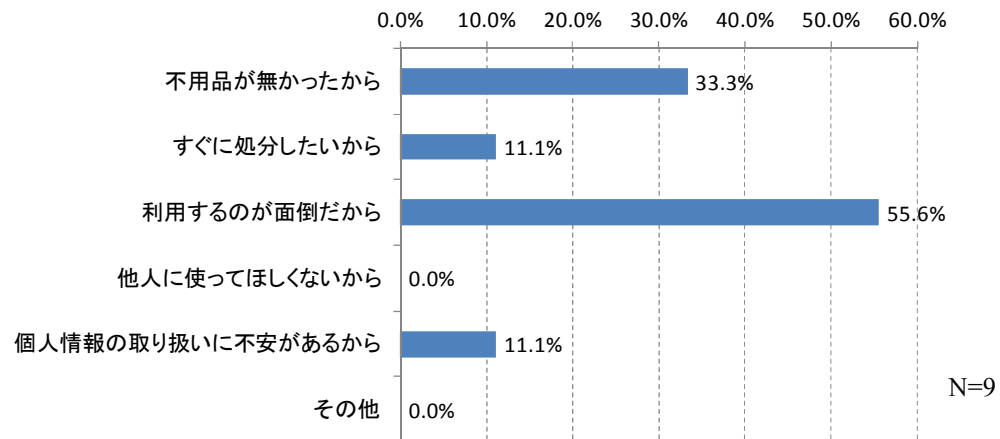


【その他の具体的な記載】

- 市のエコマーケットへ
- アマゾン

「利用していない」と回答した理由として、「利用するのが面倒だから」との回答が最も多く 55.6%（5 件）、「不用品が無かったから」が 33.3%（3 件）と続く。

図表 51 リユースをしない理由（市職員向けアンケート）（複数回答）



III. 東京都町田市

1. リユースモデル事業の概要

(1) プランの概要

2012年12月から2013年2月までの3ヶ月間、毎月「リユースの日」を設定し、町田市の外郭団体である「まちだエコライフ推進公社（以下、公社）※」とリユース業界の協力を得て、使用済み製品のリユース事業を行う。

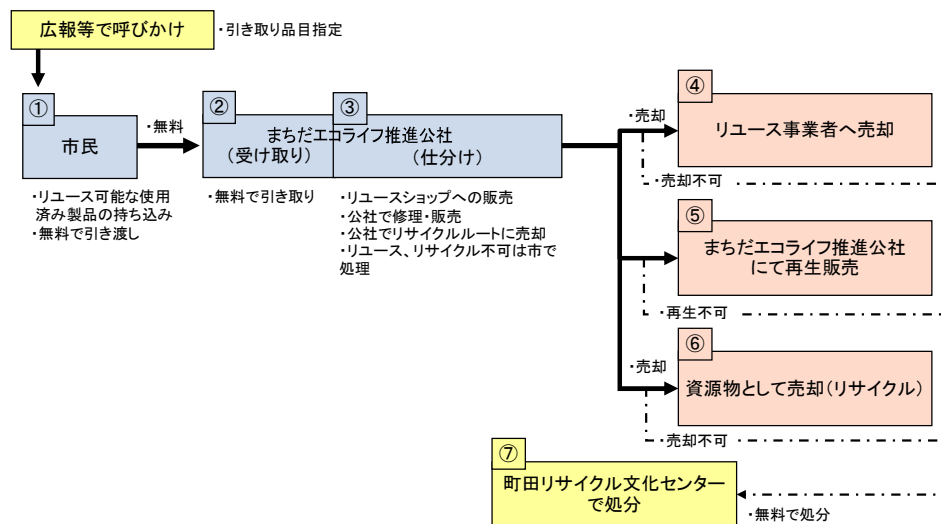
市民にリユース可能な使用済み製品の持ち込みを呼びかけ、「リユース品受け取り場所」で、公社が無償で受け取る。公社は、従来の修理再生販売だけでなく、リユース業界の協力を得て、受け取った物をリユース市場で流通させることで、リユースを促進する。公社が事業の実施を担い、市は実施に向けた調整、周知、検証などを行う。

4社のリユース事業者（キングファミリーFC本部 株式会社 Kurokawa、株式会社パシフィックネット、株式会社トレジャー・ファクトリー、ブックオフコーポレーション株式会社）と連携する。

※まちだエコライフ推進公社

町田市が推進する環境施策に協力し、持続可能な循環型社会の実現に寄与することを目的として設立された市の外郭団体。粗大ごみの収集、リサイクル広場の運営、再生販売などの事業をおこなっている。

町田市モデル事業の概要（フロー図）



- ① 市民がリユース可能な使用済み製品を持ち込む。
- ② まちだエコライフ推進公社は無料で引き取る。
- ③ まちだエコライフ推進公社は、リユース事業者に売却、公社で再生販売、リサイクルルートに売却するものに仕分ける。
- ④ リユース事業者に売却する。リユース事業者は、自社の販売ルートで市場に流通させる。
- ⑤ まちだエコライフ推進公社は、リユース業者に売却しないものを修理再生販売する。
- ⑥ まちだエコライフ推進公社は、リユース不可な製品をリサイクルルートに売却する。
- ⑦ リユース不可でリサイクルルートへの売却も不可能な製品は、町田市が処分する。

町田市モデル事業の実施スケジュール

	10月			11月			12月			1月			2月			3月		
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下
協力リユース事業者の募集・決定・調整	→																	
広報掲載依頼、PRチラシの準備				→														
HPの準備				→														
効果測定のためのアンケート内容の検討				→														
PRチラシ印刷・配布							→											
広報掲載							●			●			●					
事業実施（12月～2月）							→											
「リユースの日」開催							12/8・9	●		1/19・20	●		2/16・17	●				
利用者向けアンケート調査							●			●			●					
利用者向けアンケートの集計・分析																		
関係者への聞き取り調査																		
効果の取りまとめ																		
報告書作成																		

(2) 広報・PRの方法

市のホームページや広報紙での案内に加え、12月は廃棄物減量等推進員を通じて市内約300の町内会・自治会にチラシの掲示・回覧等を依頼、また1月には新聞折込みでチラシを配布した。このほか、「リサイクル広場まちだ」や公社の再生販売店舗、協力リユース事業者の市内店舗、市民センター等でもチラシの配布を行った。

<チラシ配布>

- ・12月実施分・・・白黒印刷、3500枚

配布先：廃棄物減量等推進員、清掃工場地域情報ネットワーク構成自治会・町内会、
公共施設14施設、公社窓口、協力事業者1店舗

- ・1月2月実施分・・・カラー印刷、135,000枚

新聞折込み：1月17日（木） 133,725世帯

その他配布先：廃棄物減量等推進員、公共施設12施設、公社窓口、協力事業者3店舗

<広報>

町田市ホームページ、「広報まちだ」3回、「環境広報紙ECOまちだ」1月11日号、
市政情報モニター「まちビジョン」（市役所・各市民センターで放送）1月、2月

引き取り
無料

大切なものを
次の人にバトンタッチ

環境省
町田市環境資源部



町田市エコキャラクター

ハスのん

リユースの日

開催します!

使えるものは、捨てずに持っていこう!

「自分では使わなくなったけれど、まだまだ使える」ものを、「リユースの日」にお持ちください。まちだエコライフ推進公社が無料で引き取り、参加事業者の協力で再生して販売するなどして、リユース（再使用）をすすめます。

12月の開催では、多くの方にお越しいただき、2300点以上のものをリユースすることができました。1月・2月は下記の日程で開催しますので、ぜひご参加ください。

- 開催日 1月19日(土)・20日(日) 2月16日(土)・17日(日)
- 時間 午前9:00から 午後3:00まで ※雨天決行
- 場所 町田リサイクル文化センター隣接地 ※裏面の地図をごらんください
- 対象品目 裏面の表でご確認ください

ー当日「リユースの日」会場では、リユース品の譲渡・販売等はおこないませんのでご了承くださいー

・「リユースの日」は、環境省の「使用済製品等のリユースに関するモデル事業」に選ばれた取り組みです。市と事業者が協力してリユース（再使用）を促進するための実証実験として、2月まで開催します。

● 協力事業者紹介 ●

衣料専門リサイクルショップ
キリガファミリー 町田店
【住所】町田市本町田 3212-1
【電話番号】042-721-3034
【営業時間】11:00～19:00
(土日祝 10:00～20:00)
【買取時間】11:00～17:00
(土日祝 10:00～17:00)
<http://www.eco-park.co.jp>
不要な衣類・雑貨
買い取ります!

売る買うが楽しいお店
総合リユースショップ
トレジャーファクトリー
町田店
森野交差点
すぐ!!
トレジャーファクトリー町田店
住所:東京都町田市旭町1-1-3
電話:042-710-7133
お売りください!
家具・家電・洋服
雑貨・スポーツ用品など
買取の詳しい情報はwebで!
トレジャーファクトリー 検索

BOOK-OFF
全国No.1の買取実績!
年間買取点数
4億7,471万点!
年間買取利用人数
1,624万人!
【買取対象商品】
本、CD、DVD、ゲーム、携帯電話、
洋書、スポーツ用品、ベビー用品、
ブランド品、楽器、ホビーなど
※店舗によって異なります。
詳しくはHP <http://www.book-off.co.jp/>

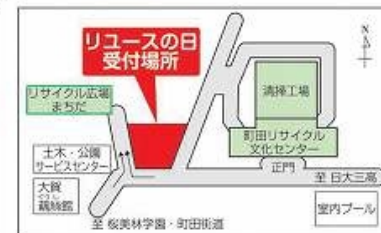
不要になった
携帯電話を
高く買います
お問い合わせください!
03-5297-1404
年中無休受付時間: 10:00-18:00
買取品目
携帯電話・スマートフォン・MP3プレイヤー・デジタルカメラ・その他
R Mobile秋葉原店

引き取り対象品目

- ・対象品目・条件を必ずご確認のうえ、受付場所にお持ちください。（収集はいたしません。）
- ・町田市内のご家庭から出たものが対象です。

引き取り品目	引き取りの条件
スキー板	10年以内のもので、ビンディングが取り付けられているもの。スキーウェアも可。
スノーボード	10年以内のもの。スノーボードウェアも可。
サーフボード	破損がないもの（キズ等は可）。ウェットスーツも可。
ゴルフクラブ	破損等がないもの。キャディバッグも可。【※パーシモン・古いマッスルバックは不可】
キャンプ用品	欠品・破損がなく、使用可能なもの。【※燃料類は不可】
釣竿・釣り用リール	破損等がなく、使用可能なもの。
スケートボード・テニスラケット	破損等がなく、使用可能なもの。
野球用グローブ・バット	破損等がなく、使用可能なもの。
ギター・ベース・アンプ・ドラム	錆び・キズ・ヘコミがなく、使用可能なもの。
トランペット・キーボード	錆び・キズ・ヘコミがなく、使用可能なもの。
チャイルドシート・ベビーカー	汚れ・破損等がなく、使用可能なもの。
ベビーベッド・ハイロウチェア	汚れ・破損等がなく、使用可能なもの。
子ども用ジャングルジム	家庭用のもので、欠品・破損がなく、使用可能なもの。
すべり台・三輪車	家庭用のもので、欠品・破損がなく、使用可能なもの。
キャリアバッグ	破損等がなく、使用可能なもの。
本	破れ・しみ・カビ等がなく、市販されているもの。【※週刊誌・情報誌は不可】
衣類・帽子	汚れ・破損等がなく、着用可能なもの。ネクタイ・ベルト・マフラー・スカーフも可。 【※制服・体操服・ユニフォーム類、社名・校名・名前等が入っているものは不可】
くつ	汚れ・破損等がなく、着用可能なもの。【※両足分揃っていないものは不可】
かばん・さいふ	汚れ・破損等がなく、使用可能なもの。【※学生かばん・ランドセルは不可】
ぬいぐるみ	汚れ・破損等がないもの。【※電池を使用して動くものは不可】
携帯電話・デジタルカメラ	（状態は問いません）
家庭用ゲーム機	（状態は問いません）
DVDレコーダー・デッキ	使用可能なもの。
その他家電	製造から5年以内で、使用可能なもの。 【※冷蔵庫・冷凍庫・洗濯機・乾燥機・テレビ・エアコン・パソコンは不可】

場所詳細 住所:町田市下小山田町3267番地



お問い合わせ先

町田市環境資源部環境政策課
電話:042-724-4379 FAX:050-3160-2758
町田市ホームページ <http://www.city.machida.tokyo.jp/>

リユース
するのん!



2. モデル事業の利用状況と効果

(1) モデル事業の利用状況

- ・ 2012年12月8日(土)・9日(日)、2013年1月19日(土)・20日(日)、2月16日(土)・17日(日)の6日間実施した。

※ 全日程、晴れ。受付時間は、9時から15時まで。

- ・ 12月は188件、1月は205件、2月は183件の利用があった。
- ・ 持ち込み受付後に、来場者にアンケートを実施した。
- ・ 当日中にリユース事業者が来場し、リユース品の選定・計量等をした。その後、公社から事業者へ引き渡した。

開催日	12月		1月		2月		合計
	8日(土)	9日(日)	19日(土)	20日(日)	16日(土)	17日(日)	
受付件数	90件	98件	104件	101件	94件	89件	576件
月合計	188件		205件		183件		
市民からの引き取り重量	1,079. kg	1,325.6 kg	1,461.1 kg	1,213.1 kg	1,218.9 kg	1,271.4 kg	7,569.1 kg
月合計	2,404.6 kg		2,674.2 kg		2,490.3 kg		



＜市民のリユース品持ち込みの様子＞



＜アンケートの様子＞



＜スポーツ、レジャー用品など＞



＜家電製品＞



＜衣類・ぬいぐるみなど＞



＜携帯電話・ゲーム機器類など＞



＜リユース品の選定（衣類）＞



＜リユース品の選定（スポーツ用品）＞

(2) モデル事業の効果

① リユース実績

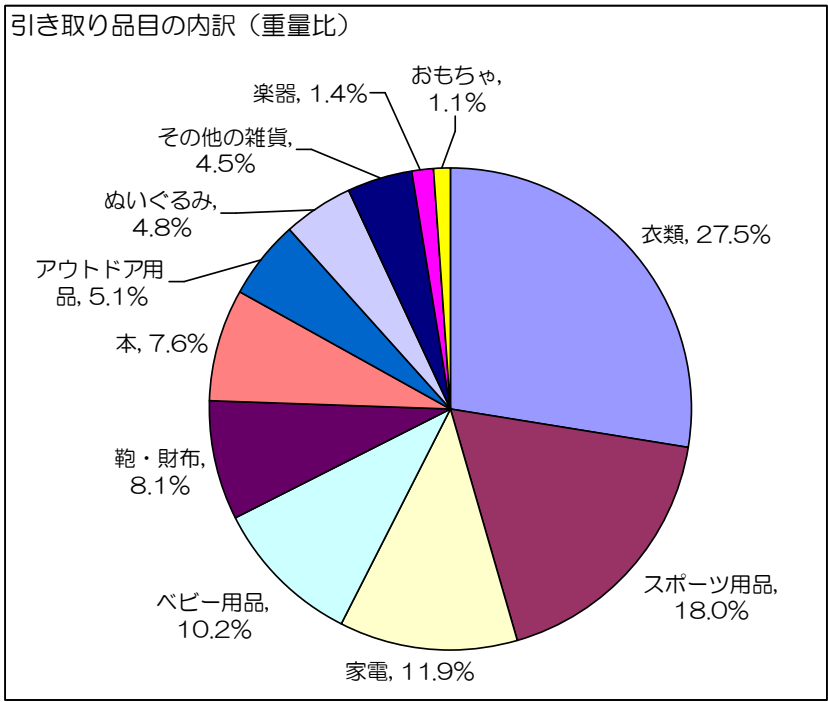
ア.市民からの引き取りについて

リユース事業者が買い取り可能な製品、清掃工場での処分が難しい製品などに品目を限定して、引き取りを実施した。得意分野の異なる複数のリユース事業者の協力を得たことで、幅広い品目を具体的に示すことができ、多くの製品を持ち込んでいただくことができた。

引き取り重量は、各回とも 1,000～1,500kg 程度で、6 回の合計が 7,569.1kg であった。

品目別では、市が週に 1 回「古着」として収集している衣類の割合が 3 割弱（27.5%）となり、最も多く集まった。

開催日	12 月		1 月		2 月		合計
	8 日(土)	9 日(日)	19 日(土)	20 日(日)	16 日(土)	17 日(日)	
市民からの 引き取り重量	1,079. kg	1,325.6 kg	1,461.1 kg	1,213.1 kg	1,218.9 kg	1,271.4 kg	7,569.1 kg
月合計	2,404.6 kg		2,674.2 kg		2,490.3 kg		



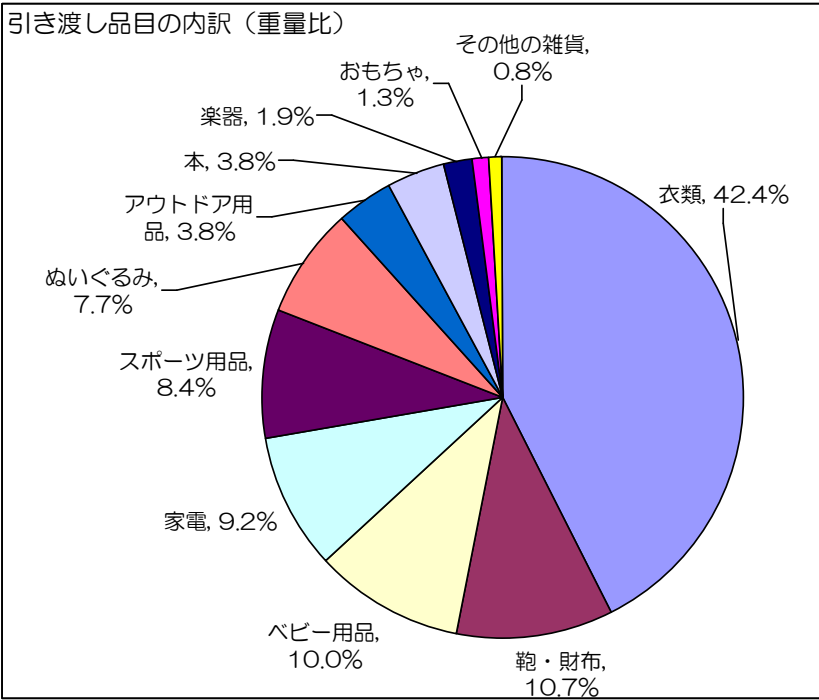
イ.リユース事業者への引き渡しについて

6回の開催で、9,743点、4,636.6kgの製品をリユース事業者に引き渡すことができた。

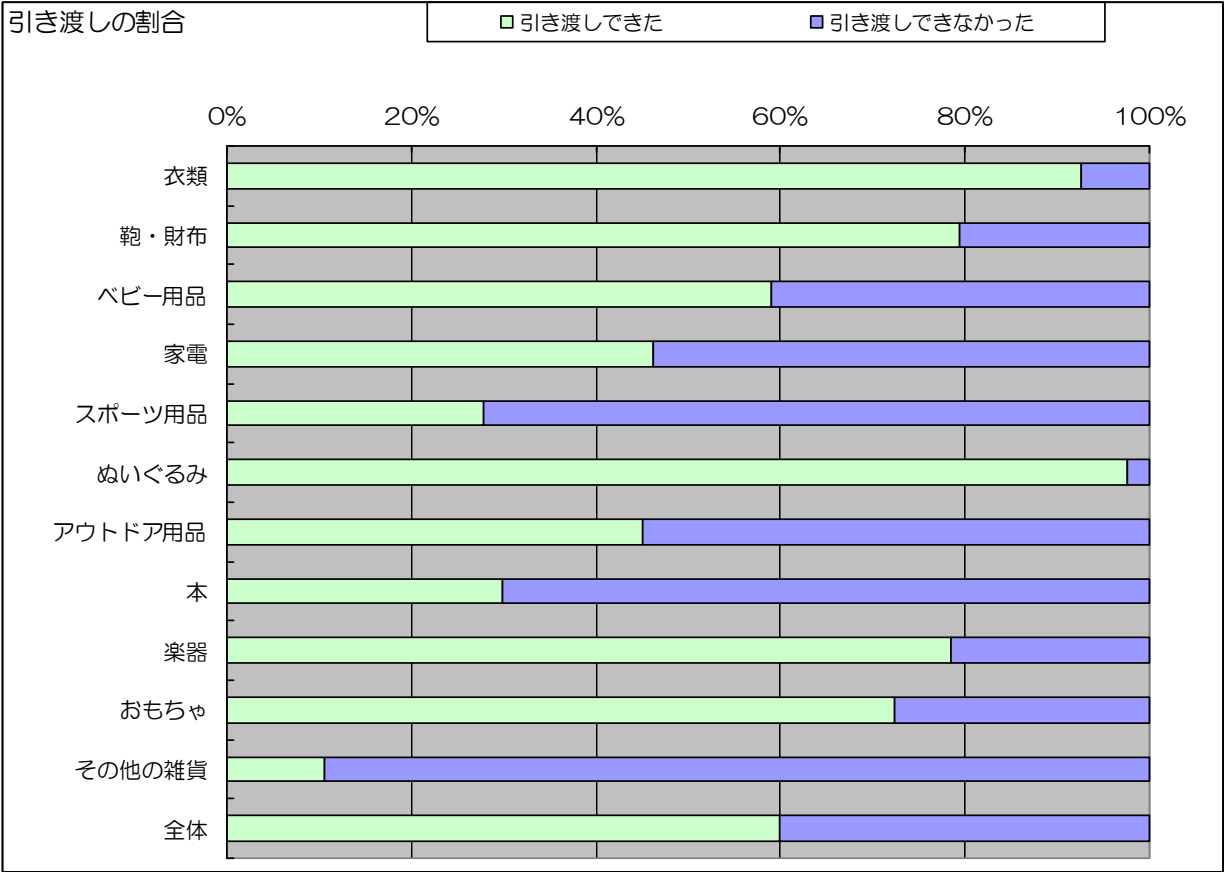
引き取り重量と同じく、衣類の割合が4割を超え最も多かったが、幅広く様々な品目を買収していただくことができた。

1月・2月開催時には、12月の結果を踏まえてリユース事業者と協議して品目を拡大したことにより、より多くの製品を引き渡すことができた。

開催日	12月		1月		2月		合計
	8日(土)	9日(日)	19日(土)	20日(日)	16日(土)	17日(日)	
事業者への引き渡し重量	591.7 kg	693.5 kg	921.8 kg	790.4 kg	778.1 kg	861.1 kg	4,636.6 kg
月合計	1,285.2 kg		1,712.2 kg		1,639.2 kg		
事業者への引き渡し数量	1,007 点	1,392 点	1,955 点	1,428 点	1,641 点	2,320 点	9,743 点
月合計	2,399 点		3,383 点		3,961 点		



引き取った製品の約 6 割をリユース事業者へ引き渡すことができた。品目別では、衣類、ぬいぐるみが 9 割を超えるのに対し、本、スポーツ用品は、3 割に満たない結果となった。品目により、リユース品として流通させやすいもの、そうでないものがあった。



ウ.事業者への売り払い実績について

6 回合計の売り払い実績は、9,743 点で 317,110 円だった。売り払った点数で約 6 割を占める衣類は、売り払い金額に占める割合では 6%と小さかった。スポーツ用品、ベビー用品、楽器は、点数は少なかったものの、高額のついたものがあった。

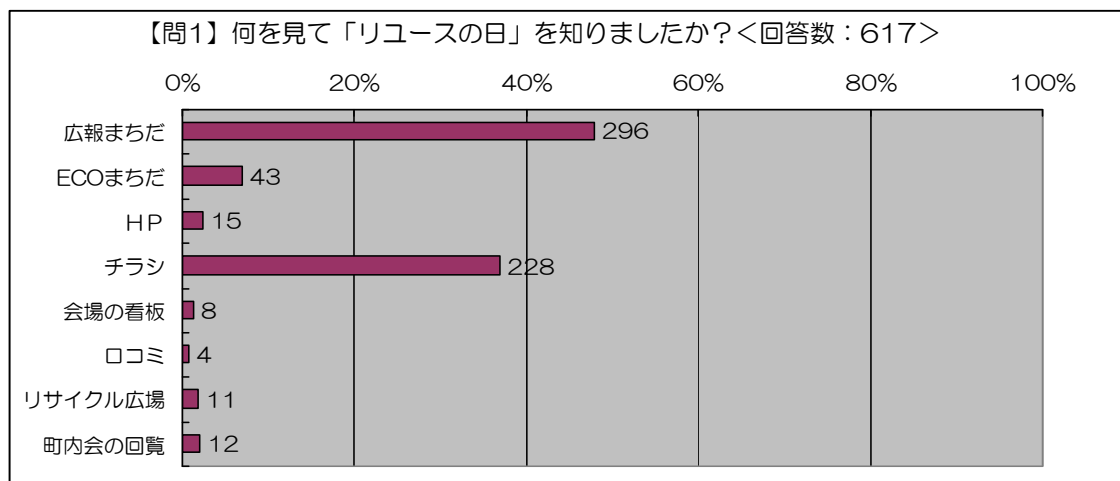
品 目	売り払い点数		売り払い金額（円）	
衣類・靴・帽子等	5,650	58.0%	19,066	6.0%
ぬいぐるみ	1,845	18.9%	3,465	1.1%
鞆・財布	950	9.8%	8,599	2.7%
スポーツ用品	761	7.8%	107,700	34.0%
家電等	185	1.9%	26,995	8.5%
その他の雑貨	109	1.1%	12,450	3.9%
アウトドア用品	104	1.1%	29,925	9.4%
ベビー用品	68	0.7%	47,830	15.1%
本	35	0.4%	17,460	5.5%
楽器	21	0.2%	39,410	12.4%
おもちゃ	15	0.2%	4,210	1.3%
合 計	9,743	100.0%	317,110	100.0%

② 来場者アンケート結果

ア.「リユースの日」の広報効果

市の広報紙「広報まちだ」を見て来場した市民が 48%で最も多かった。1 月に新聞折込みによるチラシの配布を行なったため、1 月・2 月の開催時には「チラシ」の回答が増加した。

廃棄物減量等推進員が地域でチラシの回覧を行い、地域で声を掛け合ってリユース品集め、代表者がまとめて持ち込んだ例もあった。



イ．持ち込みの動機

持ち込んだ物について、「ずっと保管していた」とする回答が 63.7%だった。「他の人に譲ったり、中古品店などに持ち込もうと思っていた」との回答は 21.1%だった。

「リユースの日」への持ち込みを選んだ理由では、「使用する人がいれば有効に利用してほしい」との回答が 18.4%で最も多く、次いで「趣旨に賛同・協力したかったから」が 15.9%だった。「市が広報していたから」、「市の事業なので安心だから」、「無料で引き取ってくれるから」との回答が続いた。

